

令和6年度 第2回介護保険事業運営等協議会・地域包括支援センター運営協議会  
・地域密着型サービス等運営委員会

令和6年 11 月 22 日(金)午後2時  
岸和田市役所 新館4階 第1委員会室

次 第

1.開 会

2.案 件

- |                                   |     |
|-----------------------------------|-----|
| (1) 令和6年度上半期 介護保険事業の運営状況について      | 資料1 |
| (2) 令和6年度上半期 地域包括支援センター運営状況について   | 資料2 |
| (3) 令和5年度地域包括支援センター事業評価について       | 資料3 |
| (4) 地域密着型サービス事業所等の指定・更新状況について     | 資料4 |
| (5) 第9期介護保険事業計画に基づく施設整備の選定結果等について | 資料5 |
| (6) その他                           | 資料6 |

3.閉 会

## 令和 6 年度上半期介護保険事業状況

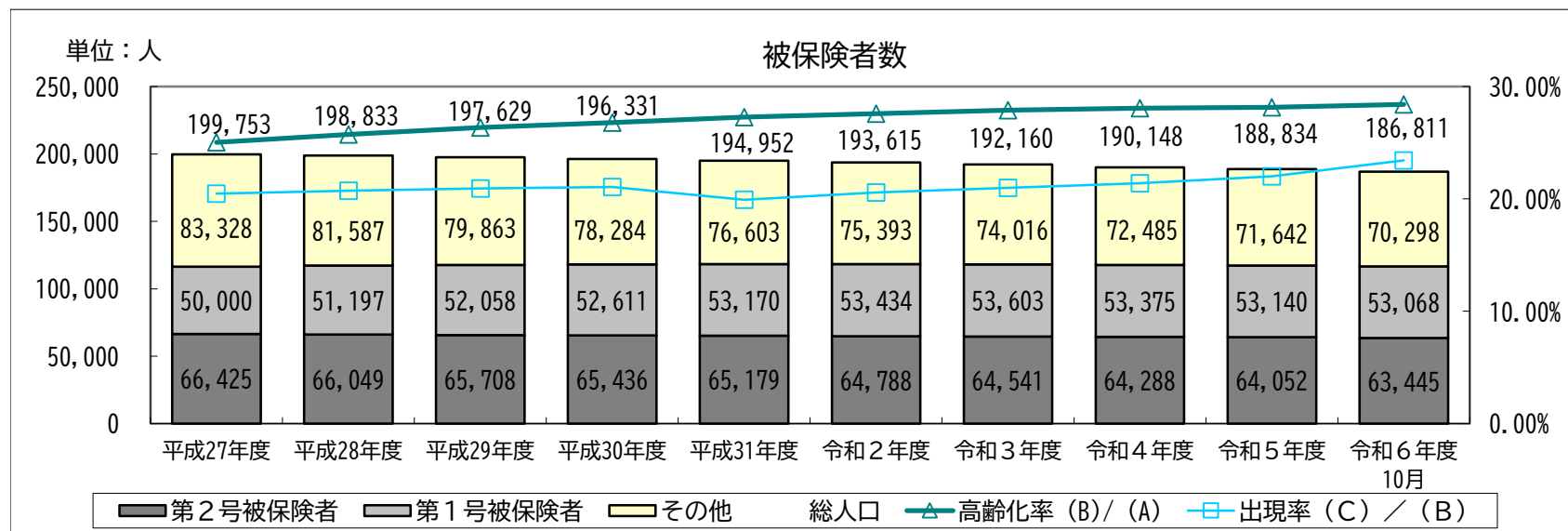
- |                    |        |
|--------------------|--------|
| 1. 被保険者数等の状況       | P. 1   |
| 2. 要介護認定等の状況       | P. 2   |
| 3. サービス利用・介護給付費の状況 | P. 3・4 |
| 4. その他事業状況報告       | P. 5   |

# 被保険者数等の状況

## (1) 被保険者数

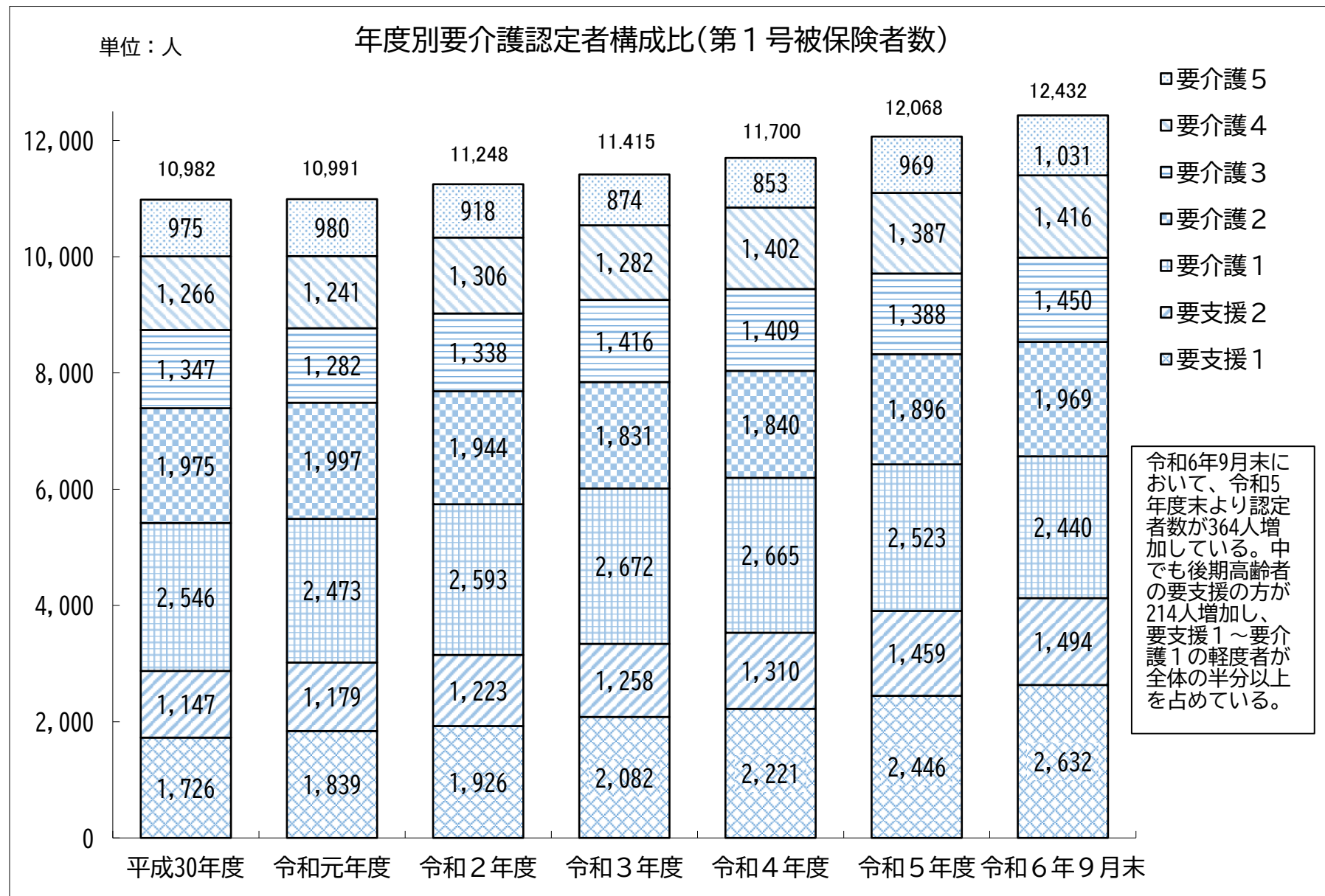
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 10月
総人口 (A)	199,753人	198,833人	197,629人	196,331人	194,952人	193,615人	192,160人	190,148人	188,834人	186,811人
第2号被保険者	66,425人	66,049人	65,708人	65,436人	65,179人	64,788人	64,541人	64,288人	64,052人	63,445人
第1号被保険者 (B)	50,000人	51,197人	52,058人	52,611人	53,170人	53,434人	53,603人	53,375人	53,140人	53,068人
(65～74歳)	27,090人	27,314人	26,940人	26,588人	26,112人	25,779人	25,937人	25,186人	23,852人	22,113人
(75歳～)	22,910人	23,883人	25,118人	26,023人	27,058人	27,655人	27,666人	28,189人	29,288人	30,955人
高齢化率 (B) / (A)	25.03%	25.75%	26.34%	26.80%	27.27%	27.60%	27.89%	28.07%	28.14%	28.41%
要介護高齢者 (C)	10,605人	10,901人	11,075人	10,592人	10,982人	10,991人	11,248人	11,415人	11,700人	12,432人
出現率 (C) / (B)	21.2%	21.3%	21.3%	20.1%	20.7%	20.6%	21.0%	21.4%	22.0%	23.4%

※各年度4月1日現在の状況・人口及び被保険者数は住民登録（外国人含む）による



第1号被保険者は令和5年度と比較して72人減少しているが、高齢化率は0.27%の伸び率となっている。

# 要介護認定の状況

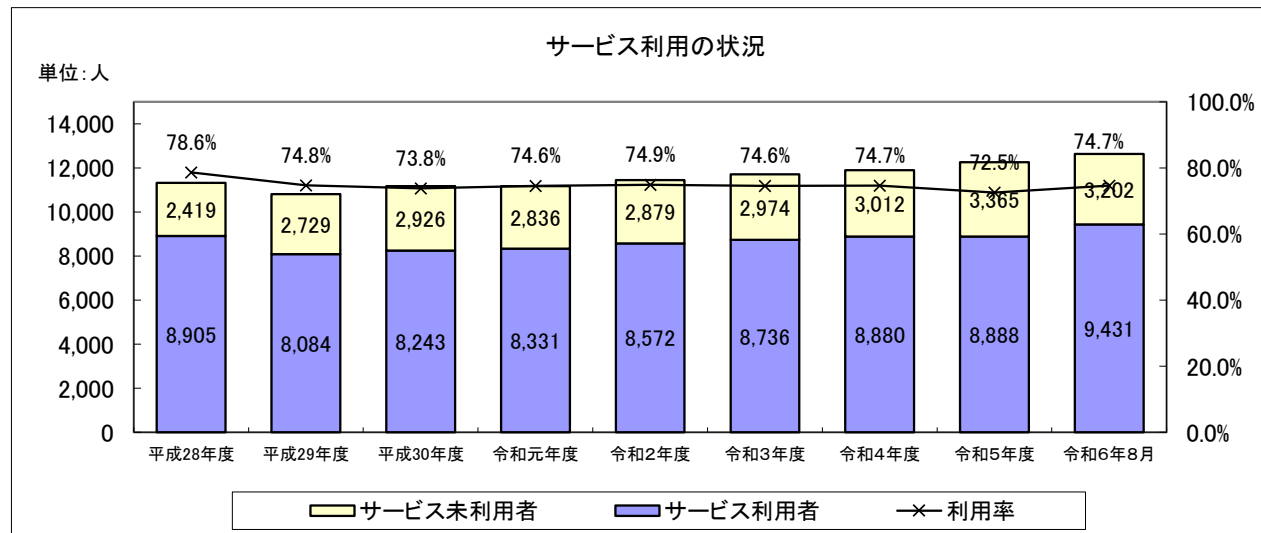


## サービス利用の状況

### サービス利用者数と利用率

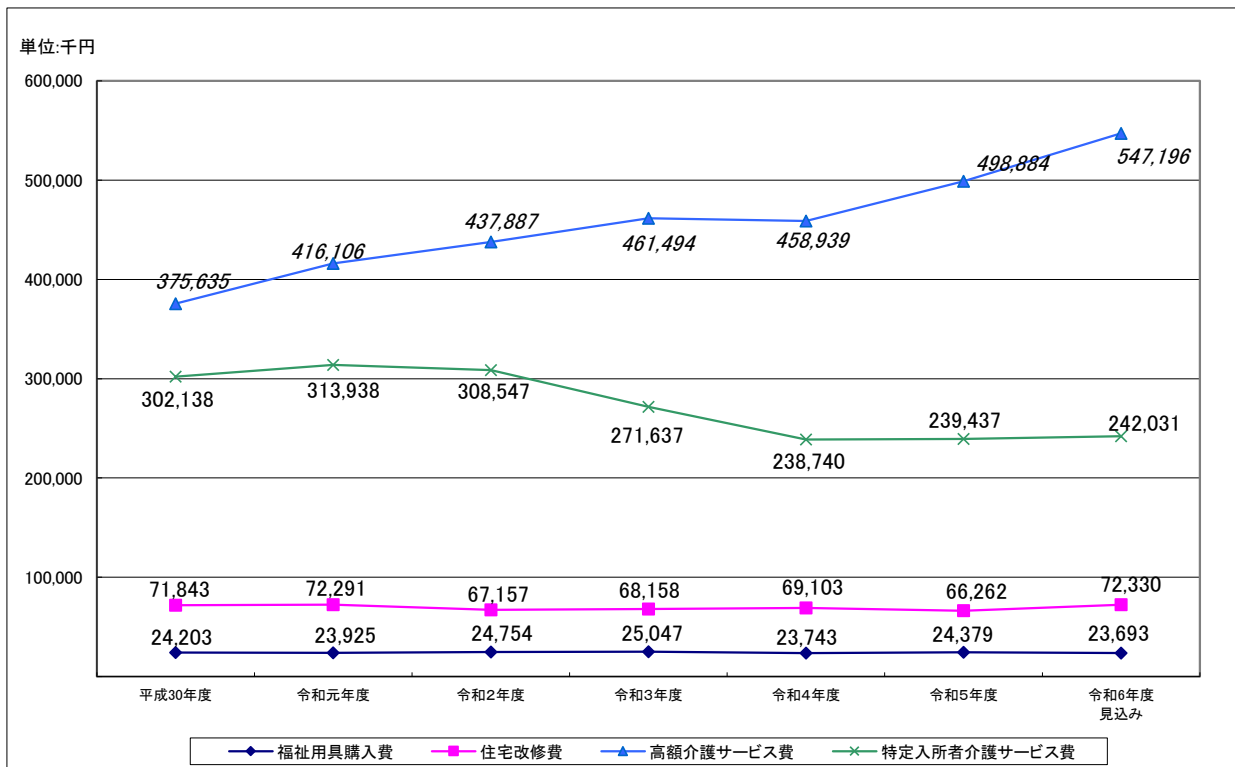
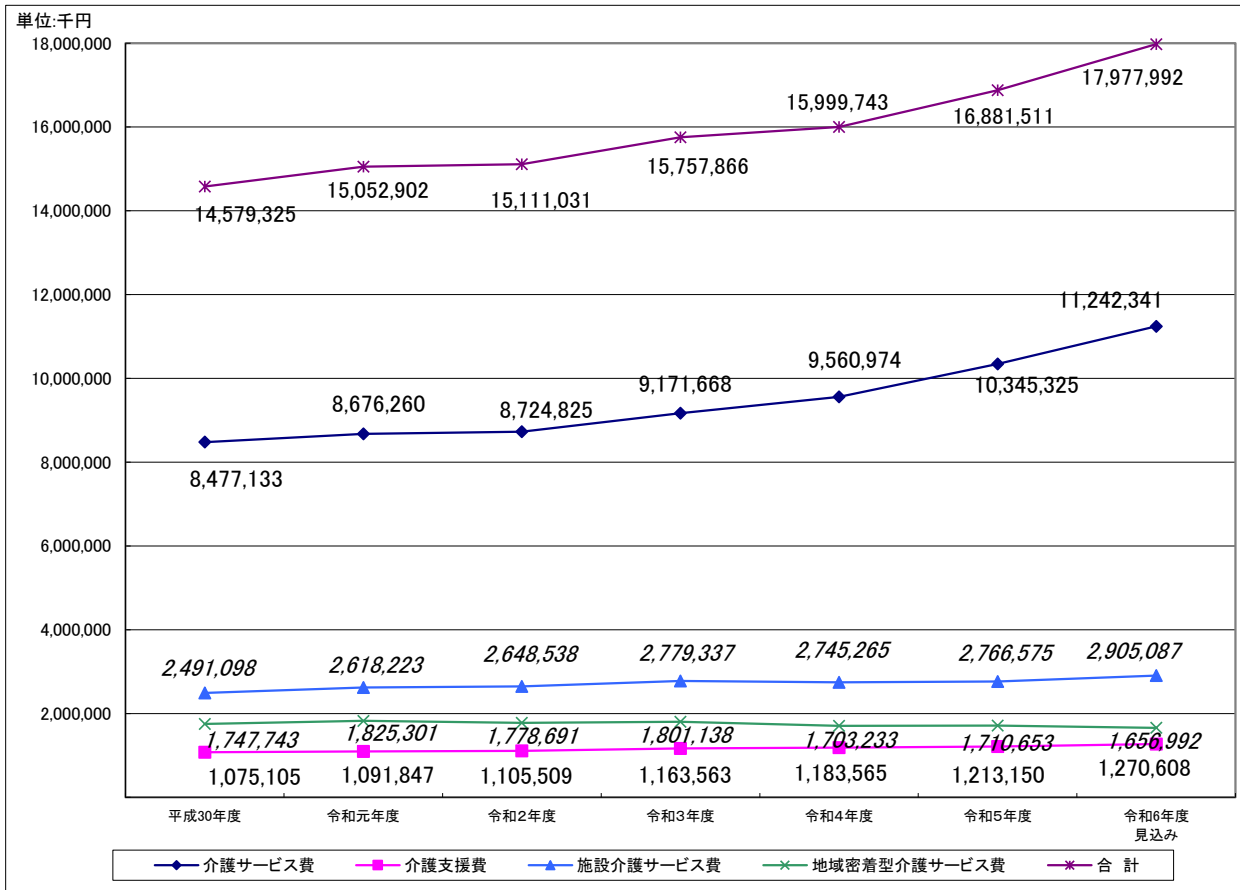
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年8月
	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数	利用者数
要介護認定者数	11,324	10,813	11,169	11,167	11,451	11,710	11,892	12,253	12,633
サービス利用者	8,905	8,084	8,243	8,331	8,572	8,736	8,880	8,888	9,431
居宅サービス	7,807	7,094	7,180	7,312	7,526	7,754	7,847	8,134	8,431
施設サービス	818	733	761	791	777	788	818	804	796
介護老人福祉施設	383	377	402	414	404	443	467	461	464
介護老人保健施設	320	303	305	327	321	294	301	294	279
介護療養型医療施設	119	53	54	33	18	20	11	0	0
介護医療院	—	—	0	19	35	32	41	53	60
地域密着型サービス	1,402	1,405	1,422	1,448	1,302	1,265	1,272	1,243	1,176
利用率	78.6%	74.8%	73.8%	74.6%	74.9%	74.6%	74.7%	72.5%	74.7%
総合事業のみの利用者				537	560	603	687	772	838
総合事業のみ利用者を含めた利用率				79.4%	79.7%	79.8%	80.4%	78.8%	81.3%

※各年度2月実績（2号被保険者含む）



総合事業のみの利用者を含めると、利用率は81.3%になる。また、要介護認定者数に含まれない事業対象者で総合事業サービス利用者は213人いる。

## 介護給付費の見込み



要介護認定者数の増加に伴うサービス利用者数の増加、R6年度介護報酬改定により、介護給付費は増加する見込みである。全体の給付費(上図)は、約179億7,799万円の決算見込みで、令和5年度決算額より約6.5%増加すると思われる。(第9期計画 約178億2,160万円 対計画比 100.88%)

## その他の事業等状況

### 介護保険給付費状況

(単位：千円)

	R2	R3	R4	R5	R6見込
実績	15,111,031	15,757,866	15,999,743	16,881,511	17,977,992
計画	17,097,128	16,578,874	17,280,944	17,796,824	17,821,600

前年度比約6.5%の伸びの見込み

### 事業所・施設数状況

居宅系サービス事業所数

	R3.4	R4.4	R5.4	R6.4	R6.10
訪問介護	127	129	136	144	147
訪問入浴介護	3	3	3	3	3
訪問リハ	8	8	8	7	7
訪問看護	34	41	44	49	57
通所介護（地域密着型含む）	98	99	97	92	91
通所リハ	13	13	13	13	13
居宅介護支援	105	103	101	104	102

### 高齢者施設数（介護保険施設除く）

	R2.11	R3.11	R4.11	R5.11	R6.11
有料老人ホーム	27	29	35	41	48
（定員数）	1,097	1,169	1,395	1,709	1,981
軽費老人ホーム	5	5	5	5	5
（定員数）	175	175	175	175	175
サービス付き高齢者向け住宅	26	27	28	29	29
（定員数）	845	895	911	936	940

都市中核：10 岸和田北部：15  
葛城の谷：7 岸和田中部：5  
久米田：6 牛滝の谷：5

都市中核：2 岸和田北部：9  
葛城の谷：3 岸和田中部：8  
久米田：5 牛滝の谷：3

有料老人ホームの増加が著しい

### その他実施事業

#### (1) 介護予防・日常生活支援サービス(上半期分)

(円)

種 類	給付件数	給付額
訪問介護相当サービス	103	1,460,504
訪問型サービスA （緩和した基準によるサービス）	5,861	60,886,360
通所介護相当サービス	96	1,961,244
通所型サービスA （緩和した基準によるサービス）	7,377	110,349,037
通所型サービスC （緩和した基準によるサービス）	432	4,655,040
介護予防ケアマネジメント	6,049	28,954,922

#### (2) 介護予防事業（上半期）

介護予防健康づくり教室 （フレッシュらいふ教室）	内容	運動教室（2回） 歯科口腔ケア教室（1回） 栄養改善教室（1回） 認知症予防教室（1回）を組み合わせた複合プログラムを実施
	場所	市内6か所実施（6圏域で実施）予定
	参加人数	4か所終了 延229名
いきいき百歳体操・かみかみ百歳体操	内容	いきいき百歳体操： 手足足首におもりをつけ、椅子に座ってできる筋力・柔軟性・バランス運動の入った体操 かみかみ百歳体操： お口の周りや舌を動かし、食べる力や飲み込む力をつけ、お口の働きを向上する体操 住民主体の自主活動としての通いの場を、市と包括の専門職が支援
	場所	市内町会など127か所実施（うち、かみかみ百歳体操96か所実施）
	参加人数	約2,500名
街かどデイハウス	内容	地域にある身近な施設に通い、地域住民による手作りの日帰り介護サービス（レクリエーション、健康チェック、給食、運動器の機能向上プログラム、認知症予防プログラム） 自宅に閉じこもりがちになっている高齢者等の自宅にスタッフが訪問するサービス
	実施日数	304日
	参加人数	延3,284名

#### (3) 自立支援型地域ケア会議(上半期分)

	R2	R3	R4	R5	R6.9
回 数	17	21	21	21	11

## 令和6年度上半期 岸和田市地域包括支援センター運営状況

## ○所在地

名称	所在地	担当圏域
地域包括支援センター社協	野田町1-5-5	都市中核（城内・浜校区を除く）
地域包括支援センター社協久米田	下池田町2-1-15	久米田
地域包括支援センター萬寿園中部	尾生町808	岸和田中部、城内・浜校区
地域包括支援センター萬寿園葛城の谷	土生町2-30-12-302	葛城の谷
地域包括支援センターいなば荘北部	荒木町2-21-59	岸和田北部
地域包括支援センターいなば荘牛滝の谷	稲葉町1066	牛滝の谷

## ○職員の配置状況（令和6年4月現在）

センター名	社会福祉士	保健師等	主任 ケアマネ	介護支援 専門員	生活支援 コーディネーター	その他	計
社協	2	1	1	1	1		6
社協久米田	2	1	1	1	1	1	7
中部	1	1	2	0	1	0	5
萬寿園葛城の谷	2	1	1		1		5
いなば荘北部	2	3	1	1	1	1	9
いなば荘牛滝の谷	1	1	1		1		4

## （1）介護予防支援事業

## 介護予防プラン作成件数

センター名	直接作成	委託作成	計	月平均	人口	高齢者数	高齢化率
社協	720	2,295	3,015	503	32,710	9,303	28.4%
社協久米田	656	1,701	2,357	393	27,513	7,143	26.0%
萬寿園中部	747	2,224	2,971	495	34,902	9,076	26.0%
萬寿園葛城の谷	860	1,729	2,589	432	32,431	9,430	29.1%
いなば荘北部	710	2,794	3,504	584	35,142	10,898	31.0%
いなば荘牛滝の谷	489	1,540	2,029	338	24,696	7,294	29.5%
計	4,182	12,283	16,465	2,744	187,394	53,144	28.4%
令和5年度	8,153	23,731	31,884	2,657	188,834	53,140	28.1%
令和4年度	7,743	21,983	29,726	2,477	190,148	53,375	28.1%

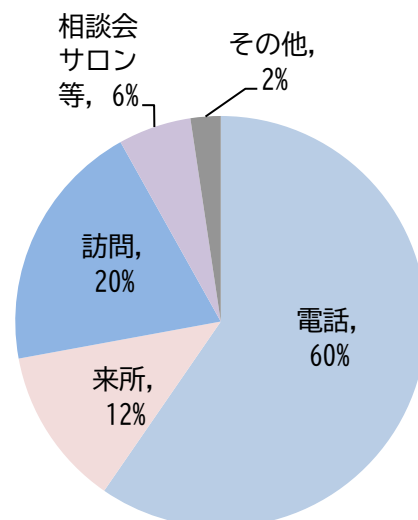
※人口はR6.4.1現在の住民基本台帳



## (2) 総合相談業務・権利擁護業務の実施

### ①相談方法

センター名	電話	来所	訪問	相談会 サロン等	その他	計
社協	180	46	4	3	12	245
社協久米田	101	37	84	18	7	247
萬寿園中部	122	13	73	5	4	217
萬寿園葛城の谷	181	54	70	10	3	318
いなば荘北部	314	54	82	63	13	526
いなば荘牛滝の谷	160	18	38	3	3	222
計	1,058	222	351	102	42	1,775
令和5年度	1,956	426	875	167	85	3,509
令和4年度	1,795	383	942	125	77	3,322

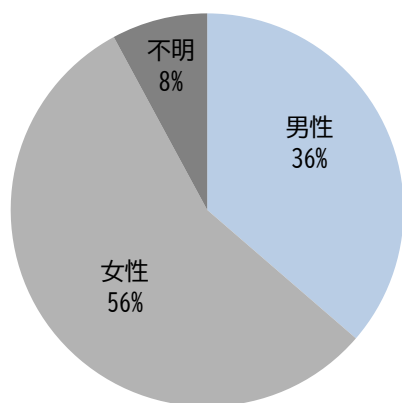


### ②相談経路

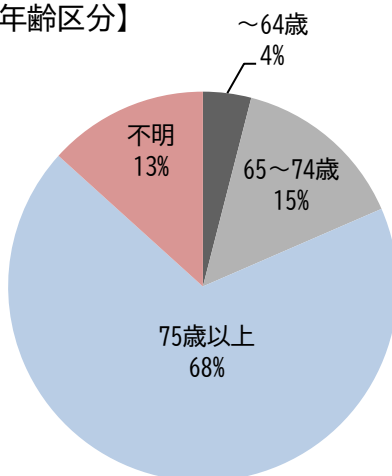
センター名	本人	親族	民生委員・ 町会・ 自治会等	関係機関	医療機関	介護支援 専門員	その他	計
社協	106	67	5	42	15	8	2	245
社協久米田	55	110	16	20	12	32	2	247
萬寿園中部	28	81	17	36	14	33	8	217
萬寿園葛城の谷	61	139	17	34	26	26	15	318
いなば荘北部	144	150	20	81	31	80	20	526
いなば荘牛滝の谷	46	104	10	23	9	15	15	222
計	440	651	85	236	107	194	62	1,775
令和5年度	754	1,404	157	439	228	368	159	3,509
令和4年度	760	1,262	150	379	254	393	124	3,322

### ③対象者の状況

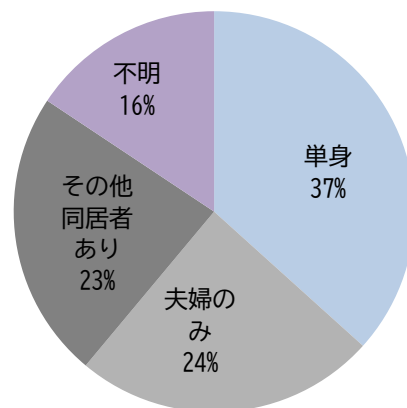
#### 【性別】



#### 【年齢区分】



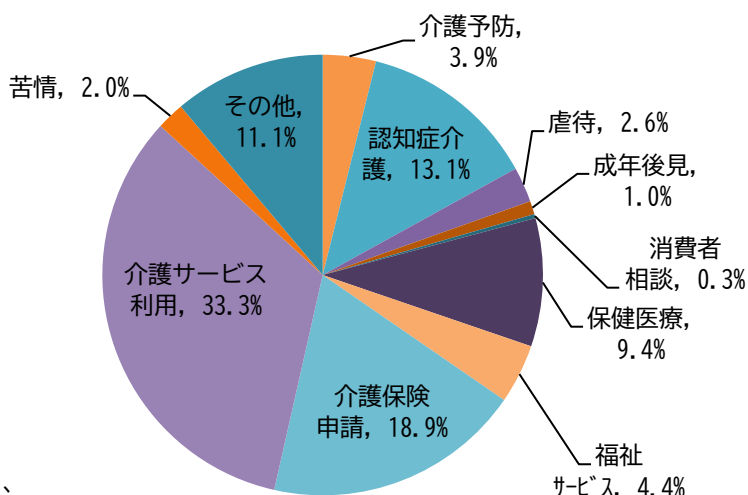
#### 【世帯類型】



④相談の主たる内容 ※複数選択可能

センター名	身体介護	介護予防	認知症介護	虐待	成年後見	消費者相談	保健医療	福祉サービス	介護保険申請	介護サービス利用
社協		1	19	5	1	1	50	3	44	93
社協久米田		10	72	8	2	0	29	18	110	105
萬寿園中部		5	27	5	2	0	6	9	49	120
萬寿園葛城の谷		7	69	20	6	1	57	26	57	159
いなば荘北部		52	103	17	12	5	58	40	121	210
いなば荘牛滝の谷		17	19	6	0	0	22	7	66	99
計		92	309	61	23	7	222	103	447	786
令和5年度		111	500	138	52	16	375	213	962	1,565
令和4年度		140	462	110	53	20	374	212	844	1,381

センター名	苦情	その他	計
社協	5	71	293
社協久米田	5	7	366
萬寿園中部	4	35	262
萬寿園葛城の谷	5	51	458
いなば荘北部	24	65	707
いなば荘牛滝の谷	5	34	275
計	48	263	2,361
令和5年度	104	514	4,550
令和4年度	117	680	4,393

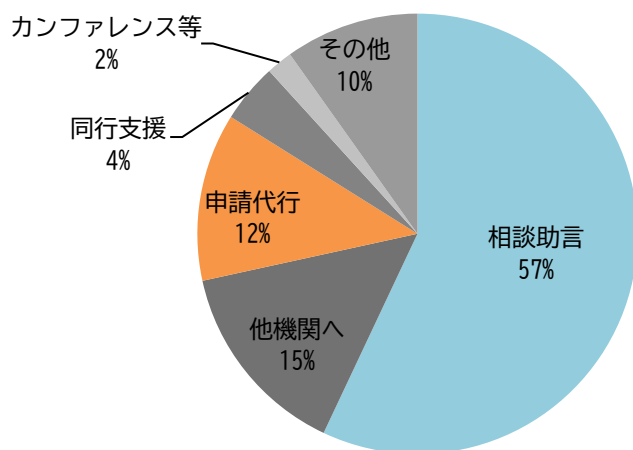


\*平成29年度から相談内容のうち「身体介護」を除き、「成年後見」「消費者相談」「介護サービス利用」「苦情」を加えています。

⑤対応状況 ※複数選択可能

センター名	相談助言	訪問	他機関へ	申請代行	同行支援	カンファレンス等	その他	計
社協	336		82	46	4	3	176	647
社協久米田	186		34	94	25	20	17	376
萬寿園中部	157		28	33	11	0	19	248
萬寿園葛城の谷	256		74	33	10	10	22	405
いなば荘北部	380		82	68	25	14	8	577
いなば荘牛滝の谷	169		79	47	38	3	14	350
計	1,484		379	321	113	50	256	2,603
令和5年度	2,461		650	673	178	114	318	4,394
令和4年度	2,385		573	632	221	90	423	4,324

\*平成29年度から対応状況のうち「訪問」を除き、「同行支援」を加えています。



## 令和6年度上半期 岸和田市地域包括支援センター事業報告

### (1) 介護予防・日常生活支援総合事業の取り組み

全体

生活援助サービス従事者研修	6回
介護予防会議／地域包括支援センター保健師看護師部会	3回
生活支援コーディネーター会議	6/10

<社協>

いきいき百歳体操 実施箇所・・・28か所 本町・北町・筋海町・宮本町・五軒屋町・野田町・藤井町・北野町・上野町東 藤井町サンサーラ＊・別所町茶居夢・下野町1丁目・下野町2岸野町・下野町5丁目 沼町・ふれあい朝陽＊・上野町西・下野町3丁目・宮前町＊・西之内町 ふれあい西之内・加守町1丁目・加守町2丁目・加守町3丁目・加守町4丁目 ＊2グループあり	22回
いきいき百歳体操SP版 実施箇所・・・28か所	
かみかみ百歳体操 実施箇所・・・28か所	

自立支援型地域ケア会議 助言者出席	4回
フレッシュらいふ教室 (デイサービス遊友)	5回
中央校区 地域ケア会議	2回
藤井町老人クラブ 総会 ミニ講座/介護保険課 市村氏	5/12
R6年度健康教育 健康保険課地域会議 (一体化事業について)	6/14
自立支援型地域ケア会議 傍聴	7/24
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 (沼町)	7/26

<社協久米田>

いきいき百歳体操 実施箇所・・・14か所 大町・紅葉ヶ丘、西大路町、五月ヶ丘町、新小松里町、額町 下池田町東、松ヶ丘町、下池田町、小松里町、額原町、池尻町＊ 八木市民センター ＊2グループあり	57回
いきいき百歳体操SP版 実施箇所・・・10か所	
かみかみ百歳体操 実施箇所・・・7か所	

自立支援型地域ケア会議 助言者出席	4回
自立支援型地域ケア会議 事前指導	4/12
フレッシュらいふ教室	4回
R6年度健康教育 健康保険課地域会議 (一体化事業について)	6/18
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施 (下池田東)	7/30

<萬寿園中部>

いきいき百歳体操 実施箇所・・・28ヶ所 八阪町、門前町、下松町、常盤台、上松町 上松台東町、上松台西町、星和上松台、桜台市民センター、とうがらし 光明地区公民館、尾生町、中尾生町、福田町、花日和、山下町、岸城町北 岸城町南、南上町1丁目、南上町2丁目、浜地区＊、大北町、中北町 上町、南町  *4グループあり	56回
いきいき百歳体操SP版 実施箇所・・・27ヶ所	
かみかみ百歳体操 実施箇所・・・21ヶ所	

自立支援型地域ケア会議	3回
自立支援型地域ケア会議 CM支援	6/13
R6年度健康教育 健康保険課地域会議（一体化事業について）	6/24
常盤台 グランドゴルフ見学	7/4
短期集中予防サービスC 初回カンファレンス	4回
短期集中予防サービスC 最終カンファレンス	4回

<萬寿園葛城の谷>

いきいき百歳体操 実施箇所・・・14か所 土生町、神明町（土生町）、流木町、太田町、畑町、作才町、行遇町 土生住宅＊、天神山町＊、土生滝町、葛城町、幸福荘  *2グループあり	16回
いきいき百歳体操SP版 実施箇所・・・10か所	
かみかみ百歳体操 実施箇所・・・9か所	

自立支援型地域ケア会議出席	4回
自立支援型地域ケア会議：担当CMへの事前指導	4回
作才町フレッシュらいふ教室：最終日は塩分測定の実施	5回
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（流木町・天神山町）	2回
短期集中予防サービスC 初回カンファレンス	6/18
八田町筋トレ教室：熱中症予防についてのミニ講座	6/13
R6年度健康教育 健康保険課地域会議（一体化事業について）	6/24
阿間河滝町筋トレ教室参加：アイススラリーと脳トレ	7/23
短期集中予防サービスC 中間カンファレンス	8/30
短期集中予防サービスC 最終カンファレンス	9/19

<いなば荘北部>

いきいき百歳体操 実施箇所・・・23ヶ所 春木若松町、春木大小路町、中井町、荒木町 大道町、神弥町（磯上町）、磯上町第1、2老人会、ラヴィーレ岸和田 春木年番本部＊、星ヶ丘町、春木旭町、シルバーハウジング 若葉ヶ丘町、戎町、春木本町、春ヶ丘町、ひまわり（春木公民館）、春木団地 春木宮本町、春木中町、春木元町 *2グループあり	26回
いきいき百歳体操SP版 実施箇所・・・5ヶ所	
かみかみ百歳体操 実施箇所・・・16ヶ所	

自立支援型地域ケア会議	3回
R6年度健康教育 健康保険課地域会議（一体化事業について）	2回
短期集中予防サービスC 最終カンファレンス	2回
大阪ええまちプロジェクト活用講座 ～生活支援体制整備事業のヒント～（オンライン）	5/24
短期集中予防サービスC 初回カンファレンス	5/29
短期集中予防サービスC 中間カンファレンス	6/27
岸和田市立図書館まつり実行委員会会議	9/1
地域包括ケア職員セミナー『介護予防ケアマネジメントの効果的な推進』配信	9/23

<いなば荘牛滝の谷>

いきいき百歳体操 実施箇所・・・19ヶ所 田治米団地、田治米町、岡山町、黄金塚第Ⅱ期、東ヶ丘町＊、内畑町、積川町 大沢町、黄金塚第Ⅰ期、今木町、包近町、翠ヶ丘町、摩湯町、三田町小倉 稲葉町、山直中町、西教寺、フレッシュ積川 *2グループあり	26回
いきいき百歳体操SP版 実施箇所・・・7ヶ所	
かみかみ百歳体操 実施箇所・・・16ヶ所	

令和6年度 自立支援型地域ケア会議 助言者出席	3回
自立支援型地域ケア会議 CM支援	2回
フレッシュらいふ教室【やんちゃ倶楽部】	5回
山滝地区内畑町自主体操【ほっこり山滝】	3回
山滝地区大沢町自主体操【ほっこり山滝】	2回
いなば荘 住民様向け医療講演会 131名参加	4/14
街かどデイ ひまわり【田治米町】状況把握	5/30
R6年度健康教育 健康保険課地域会議（一体化事業について）	6/21
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（三田町 三田小倉）	7/30
岸和田市図書館 図書館まつり実行委員会 会議	9/1
出前講座：介護予防【山直市民センター】 開催	9/21

## (2) 総合相談支援事業

全体

### <社協>

大阪信用金庫岸和田支店 出張相談会	3回
専門職ネットワーク会議 都市中核圏域	2回
ふれあい大宮（大宮地区福祉委員会）	4回
加守町4丁目 サロン	4/11
下野町1丁目見守り訪問（フレッシュらいふ教室開催提案）	4/12
子育てサロン カンガルー	4/17
朝陽地区 サロン（出前講座開催提案）	4/21
朝陽地区福祉委員会 総会	5/11
沼町リビング会議〈地域ケア会議〉	8/5
岸和田駅前郵便局 出張相談会 打合せ	8/20
岸和田駅南口ローソン チラシ配架依頼	8/20
岸和田商店街セブンイレブン チラシ配架依頼	8/20
岸和田沼町ローソン チラシ配架依頼	8/20
岸和田上野町東ローソン チラシ配架依頼	8/20
岸和田郵便局（本局） 出張相談会 打合せ（10/15 PM実施）	8/20

### <社協久米田>

池田泉州銀行出張相談会	3回
下池田町 ふれあい給食	2回
桃ヶ丘町 おしゃべり会	2回
紅葉ヶ丘町 ふれあい給食	2回
専門職ネットワーク会議 久米田圏域	3回
下池田町東 ふれあい給食	2回
五月ヶ丘町 ふれあい給食	2回
桃ヶ丘町 地域ケア会議	2回
八木北地区福祉委員会	4/24
八木地区福祉委員会	4/25
八木南地区福祉委員会	4/27
レックスの集い 「地域包括支援センターについて」	5/26
桃ヶ丘町 おしゃべり会	6/3
リビング ふれあい喫茶もみじ	6/4
リビング 楽しいおうち	6/7
新小松里町 ふれあい給食	6/12
八木三校区ボランティア研修 <参加>	9/14

<萬寿園中部>

大阪信用金庫介護相談会	6回
福田町サロン ふくふくサロン	5回
光明地区福祉委員会 地域住民と福祉施設懇談会	4回
中部専門職会議	3回
尾生町サロン	4回
光明のみらいを作る福祉懇談会	3回
中尾生町サロン	3回
門前町 いき百 SCD支援	2回
民生委員福祉部会研修会	5/23
門前町サロン	6/9
八阪町サロン	6/9
岸城北出前講座「介護保険の話」	6/14
南上町一丁目サロン「しゃべり場」	6/14
南上町2丁目サロン	6/20
上松町サロン	6/23
中北町 クロリティー 生活支援コーディネーター自己紹介 役割説明	6/28
浜地区福祉委員会	6/28
上松町西サロン	7/7
星和上松台サロン	7/7
星和上松台出前講座「介護予防」	7/22
南上町ロイヤルクラブ（老人会）健康講座 打ち合わせ	8/20
上松町新会館 喫茶「カトレア」 SCD地域の情報収集	8/26
浜老人集会所 SCD 居場所への参加啓発	8/26
桜台市民センター公開講座「認知症について」	8/28
光明地区サロン 「ほのぼの広場」	9/8
岸城北 いき百 SCD支援	9/30

<萬寿園葛城の谷>

天神山ふれあい給食会	6回
天神山あいサロン参加：脳トレ・指体操	4回
天神山地区福祉委員会	4回
葛城町しあわせサロン	3回
天神山1丁目サロン：介護保険制度について、ACPIについて等 ミニ講座開催	5回
畑村サロン・老人会：脳トレ指体操の実施	4回
天神山町緊急キット引き渡し説明会	2回
葛城の谷専門職ネットワーク会議	3回
土生町サロン	2回
真上町サロン	2回
天神山荘苑ふれあい喫茶：介護保険について等のミニ講座	2回
修斎校区民生委員勉強会	6/19

リビングアマン：アイススラリーと脳トレ	7/10
神須屋町サロン：熱中症予防についてのミニ講座。メイバランスの配布	9/3
土生滝ほっとサロン：包括の役割について：メイバランスの配布	9/8
<葛城の谷：地域ケア会議>	
天神山町地域ケア会議（定例会議）	3回
畑町地域ケア会議（定例会議）	4回
土生住宅地域ケア会議（定例会議）	2回
葛城町地域ケア会議（定例会議）	3回
土生住宅地域ケア会議（個別会議）：認知症の方の情報共有。CMと民生委員	5/1
天神山町地域ケア会議（個別会議） ：認知症の方の対応。民生委員、地区福祉委員、地域住民	5/9
天神山校区地域ケア会議（推進会議）「災害時の対応や注意事項について」 参加者：自治会、民生委員、地区福祉委員、地域住民、福祉政策課、介護保険課、CM、社協、CSW、相談支援事業所、包括	5/29
旭校区地域ケア会議（推進会議）：土生町、作才町、行遇町	9/26

<いなば荘北部>

大芝地区 個別見守り訪問活動報告会【にこにこ大芝】	5回
ラパーク岸和田 福祉相談会	3回
新条地区 福祉委員会（なかよし新条）	3回
大阪信用金庫出張相談会	3回
北部圏域 専門職ネットワーク会議	3回
大芝女性学級『結』第1回学習会『認知症予防などの体操、ゲーム』	4/5
地域交流会 住民向け医療講演会（131名参加）	4/14
城北地区 福祉委員会総会	4/19
新条地区 福祉委員会総会	5/15
大芝地区 グラウンドゴルフ大会	5/23
春木地区 定期総会（市民協、町会連合会、各種団体出席）	5/25
大芝地区 SC（シニアクラブ）会議	6/4
新条地区 中井町「歌とお話の会」	6/6
春木地区 オンデマンドタクシー運用説明会（周回範囲、春木・大芝地区）	6/16
大芝地区 戎町いきいきサロン	6/18
大芝地区 松風町移動販売の今後について協議	6/21
春木地区 春木若松町ふれあいサロン	6/26
大芝地区 磯上町いきいきサロン	6/28
大芝地区 松風町いきいきサロン	7/1
大芝地区 神弥町いきいきサロン	7/2
大芝地区 八幡町いきいきサロン	7/3
大芝地区 松風町移動販売導入打合せ①	8/2
大芝地区 松風町移動販売導入打合せ②	8/20
大芝地区 カラオケ大会	9/28



<いなば荘牛滝の谷>

田治米団地 福祉・介護相談会	6回
黄金塚Ⅰ福祉・介護相談会	5回
子育てサロン桃太郎【山直南】	5回
山滝地区福祉部会・福祉委員会	4回
山直南地区福祉委員会総会	4回
城東地区小地域ネットワーク会議	4回
牛滝圏域専門職ネットワーク会議	3回
JAIずみの山直上支店 福祉・介護相談会	3回
JAIずみの山滝支店 福祉・介護相談会	3回
カフェ山滝【内畑町】	3回
いきいきカフェ【東ヶ丘町】	3回
子育てサロンSUN・サン【城東】	3回
子育てサロンワンワン【山直北】	3回
山直北地区福祉委員会三役会	2回
子育てサロン山滝【山滝地区】	2回
岡山町【黄金塚Ⅱ期】きらきら喫茶	4/19
水なすカフェ【稲葉町】	6/17
三田郵便局利用者に向けての包括支援センター啓発活動	6/17
カフェ黄金【岡山町・黄金塚Ⅰ】	6/19
きらきら喫茶【岡山町黄金塚Ⅱ期】	6/21
岡山町ガーデンコートいきいきサロン	7/21

### (3) 包括的・継続的マネジメント（ケアマネ支援等）

全体

主任ケアマネジャー部会	5回
新人ケアマネ研修	3回
ケアプランチェックについて、事前打ち合わせ（役所・包括）	9/19
法定外研修（市・主催 於 opsol福祉総合センター）	9/20

<社協>

法定外研修打合せ（10/11 6包括主催 保健所と）	7/30
萬寿園主催 法定外研修 <参加>	9/4

<社協久米田>

6包括法定外研修 保健所事前打合せ	7/30
萬寿園主催 法定外研修 <参加>	9/4

<萬寿園中部>

大阪CM協会岸和田・忠岡支部：総会・法定外研修参加	6/25
ケアプラン助言 きぼうの輪	7/12
岸和田市事業者連絡会交流会	8/23
中部・葛城の谷圏域 ケアマネ研修会「意思決定支援」	9/4

<萬寿園葛城の谷>

CMよりの虐待通報：CM同席にてデイにて面談。後日、福祉政策課と同行にて対応。	2回
大阪協会岸和田・忠岡支部：総会・法定外研修参加	6/25
CM協会事例検討会参加	7/22
岸和田市事業者連絡会交流会	8/23
CM個別支援：同席にて（母が認知症で息子が精神疾患を抱える）家族と面談	8/28
圏域別CM研修会：法定外研修 「意思決定支援について」 大阪弁護士会より	9/4

<いなば荘北部>

介護支援専門員交流会（カフェミーティング）	6回
荒木町星ヶ丘団地 地域ケア会議事前事例検討会	6/18
荒木町星ヶ丘団地 個別地域ケア会議	6/24
令和6年度新人ケアマネ研修・法定外研修 北部と打合せ	8/16
春木南浜町 個別地域ケア会議 『精神疾患を抱える方を地域で支えるための課題共有』	9/4

<いなば荘牛滝の谷>

牛滝の谷圏域居宅介護支援事業所 情報収集	5/16
東ヶ丘町 地域ケア会議	6/10
牛滝の谷介護支援専門員交流会【いなばた会議】「身寄りのない方の支援について考える」	6/20
令和6年度新人ケアマネ研修・法定外研修 北部と打合せ	8/16

## (4) 在宅医療・介護連携推進事業

全体

在宅医療介護連携拠点会議	5回
--------------	----

<社協>

本町 出前講座	6/23
加守町2丁目 出前講座 講師：江籠氏（人生会議）	7/15
上野町西 出前講座 講師：介護保険課市村氏	7/25
人生会議支援実践人材育成研修	7/27

<社協久米田>

泉州がん診療連携(ネットワーク)協議会	6/6
難病患者支援ネットワーク会議	6/21
街かどデイサービス希望 出前講座 「介護保険制度、介護予防、相談機関について」	7/24

<萬寿園中部>

岸和田徳洲会病院心不全ケアチーム勉強会（オンライン）	6/19
----------------------------	------

<萬寿園葛城の谷>

泉州がん診療連携協議会 緩和ケア部会参加：市民病院にて	6/6
天神山あいサロン：出前講座開催：「栄養のはなし」：講師：栗林氏	7/24
土生住宅集会場：出前講座開催：「認知症について」：講師：川本氏	9/21

<いなば荘北部>

医療出前講座打合せ（徳洲会病院MSW）	4/30
住民啓発セミナー（春木市民センター）ほっとナビ訪問看護ステーション 竹本氏・吉田氏『忘れてしまう【私】と、その方を支える【あなた】を守る これからの生き方』	5/21
岸和田徳洲会病院心不全ケアチーム勉強会（オンライン）	6/19
R6年度連携支援モデル構築事業事例検討会 ～みんなで考えよう、依存症の本人家族の支援～	9/24

<いなば荘牛滝の谷>

圏域内 新設クリニック挨拶・出前講座相談	8/9
令和6年度大阪府依存症対策強化事業支援機関連携支援モデル構築事業 事例検討会参加	9/24

## (5) 権利擁護業務（虐待や消費者被害から高齢者等を守る）

全体

高齢者虐待防止実務者会議／地域包括支援センター社会福祉士部会	6回
地域包括支援センター法律支援事業（法律相談）	3回
認知症支援ネットワーク会議	3回

<社協>

虐待研修受講（府社協）	3回
認知症支援ネットワーク会議 ワーキンググループ	2回
認知症サポーター養成講座（国際東洋医療学院）	2回
成年後見申し立て面談	2回
後見会議（ケース提出）	6/18
認知症ネットワーク会議 打合せ	7/17
虐待相談対応	7/17
認知症サポーター養成講座 打合せ（国際東洋医療学院）	8/16

<社協久米田>

権利擁護実務初任者研修会	6/27
認知症キャラバンメイト研修 <参加>	7/25
認知症支援ネットワーク会議：KDCワーキング	8/27

<萬寿園中部>

個別後見申し立て支援	2回
萬寿園にて虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会出席	3回
虐待ケースカンファレンス（福祉政策課、生活福祉課、社協、ケアマネ、包括）	4/16
虐待ケース弁護士事務所へ報告・相談	6/4
成年後見申し立て支援 後見人と家族との調整	6/7
権利擁護検討会議	7/16
認知症サポーター養成講座（講師としていなば荘にて開催）	7/23
個別ケースにて自治振興課と連携し特殊詐欺防止児童通話録音機貸し出し	7/30
利用者家族へ成年後見制度説明訪問	8/26

<萬寿園葛城の谷>

認知症支援ネットワーク会議：サポート医との連携ワーキング	2回
認知症支援ネットワーク会議：本人家族の話を聞くワーキング	2回
認知症初期集中支援チーム（久米田病院）との協働支援 土生住宅：包括・福祉政策課・ローズケアチームにて対応事案	3回
認知症初期集中支援チーム（市民病院）との協働支援 市民病院・生保との連携による救急搬送で市民病院から入院へ	3回
萬寿園にて虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会出席	3回
イオンにて認知症カフェ開催協力：個別相談対応・BP測定	2回
虐待対応で緑ヶ丘で面談：社協、CSW	6/17
権利擁護研修会参加：初任者研修エル大阪にて開催。後見利用への流れとGW	6/25
福祉政策課と同行訪問。娘と面談：虐待？主治医とも連携	8/7
民生委員と連携：緊急事態で救急要請し、他の民生委員とも情報共有する	9/4
グループホーム入所に向けて後見人を含めたチーム会議開催	9/12
認知症の人を支える家族のつどい開催：アムール岸和田の米谷氏講師	9/27

<いなば荘北部>

令和6年度養護者による高齢者虐待対応現任者研修	3回
R6年度高齢者虐待対応研修（基礎研修）	5/28
認知症支援ネットワーク会議：本人家族の話を聞くワーキング	6/19
相談実務担当者のための権利擁護実務初任者研修会（基礎編）	6/25
専門職向け認知症サポーター養成講座受講	7/23
第23回 岸和田市認知症の人を支える家族のつどい	9/27

<いなば荘牛滝の谷>

牛滝の谷圏域キャラバンメイトの集い	3回
東ヶ丘町 出前講座 講師：岸田法務事務所 岸田司法書士 「法律で考える終活 自分らしい人生と最期の準備」	7/17
専門職向け認知症サポーター養成講座受講（いなば荘）	7/23
岸和田三田郵便局 圏域のキャラバンメイトと認知症月間啓発活動	9/18
第23回岸和田市認知症の人を支える家族のつどい 参加	9/27

## (6) その他の取り組み

全体

6包括会議	6回
地域包括支援センター運営協議会	7/26

<社協>

子育てサロンカンガルー（大宮校区 福祉委員会活動）	3回
生活支援コーディネーター 研修受講	4回
社会福祉士 実習生受け入れ	4回
避難訓練・避難訓練打合せ 〈参加〉	2回
沼町リビング プレオープン 見学	4/8
沼町リビング 見学	4/22
とくしまる 説明（スーパーサンプラザ）	4/26
岸和田市事業者連絡会運営委員会	5/15
いのちをつなぐネットワーク会議	6/13
スーパーバイザー研修受講	6/13
こども食堂研修会受講	6/22
運営推進会議（デイサービスワン）	7/19
大阪介護支援専門員協会 岸和田・忠岡支部主催 共同事例検討会 〈参加〉	7/22
生活支援コーディネーター基礎研修受講	7/23
ACP研修受講（府中病院）	7/29
大阪府地域生活定着支援センター研修会 受講 「地域の課題に他機関協働で取り組む」（SCD）	8/9
社協 勉強会参加「身寄りのない方への支援」	8/27
岸和田市医師会看護専門学校実習生 受入打合せ	9/12
連携モデル構築事業事例検討会 保健所主催	9/24
運営推進会議（花りぼん）	9/26

<社協久米田>

久米田看護専門学校実習生受け入れ	4回
久米田看護専門学校 実習生対応	3回
OKハウス 運営推進会議	5/20
地区福祉連絡会議	5/20
みずの輪研修受講 「ACPについて」	5/22
牛滝の谷 いなばた会議参加 「身寄りのない人について」意見交換	6/20
大阪府地域生活定着支援センター研修会 受講 「地域の課題に他機関協働で取り組む」	8/9
岸和田市事業者連絡会運営委員会	8/21
通所事業所向け研修	8/21

岸和田看護専門学校 実習生受け入れ打合せ	9/10
みずの輪公開講座「認知症かな？と思ったら」受講	9/11
アムール運営推進会議	9/19
命をつなぐ絆ネットワーク会議	9/25
三木会研修受講	9/30

<萬寿園中部>

グループホームやすらぎ運営推進会議	3回
チャオ神於山園竣工式 30周年記念式典	4/8
介護保険課による包括契約書・仕様書、いきいき百歳体操内容説明	4/15
デイサービスうらら運営推進会議	5/20
みずの輪総会と記念講演「人生の最後を考える」講師市民病院川島先生	5/22
いのちをつなぐ絆ネットワーク会議	6/13
岸和田保健所 依存症事例検討会	6/25
近畿ブロック地域包括ケア推進セミナー	7/5
大阪介護支援専門員協会 岸和田・忠岡支部 共同事例検討会	7/22
生活支援コーディネーター基礎研修受講	7/23
チャオ神於山開設記念講演	7/26
保健所研修「精神症状を持つ高齢者の支援と治療」	7/31
浜地区地域ケア会議 浜地区高齢者の居場所作り	8/6
寺田病院医療研修会 「目の健康を守るために」 講師：國吉医師	8/6
寺田病院医療研修会 「皮膚科医師に教わるアトピーの治療について」 講師：大塚医師	8/21
通所事業者向け研修会	8/21
ゲンキネクスト岸和田下松 運営推進会議	9/6
みずの輪 公開講座「認知症の事を理解しよう～認知症かな？って思った～」	9/11
認知症の人を支える家族のつどい	9/27
萬寿園：防災委員会（BCP）伝達研修等	3回
萬寿園：感染防止委員会：感染BCPの確認と伝達研修等	3回
萬寿園：研修会 「倫理と人権研修」	5/16
萬寿園：個人情報保護委員会	5/23

<萬寿園葛城の谷>

大阪緑ヶ丘グループホーム 運営推進会議	3回
地域密着型通所介護 アルケル運営推進会議	2回
地域密着型通所介護 和み屋デイサービス運営推進会議	4/26
地域密着型通所介護 ポシブル運営推進会議	5/23
地域密着型通所介護 あすなろ運営推進会議	5/31
岸和田市医師会看護専門学校にて老年看護の講義	4回
事業者連絡会：会計監査の実施	3回
岸和田市事業者連絡会運営委員会	2回

神於山園30周年式典と新特養竣工記念式典参加	4/8
みずの輪総会と記念講演「人生の最後を考える」講師：市民病院川島先生	5/22
大阪ええまちプロジェクト研修：zoomにて受講	5/24
個人情報についての研修「個人情報と守秘義務について」YouTubeにて受講	5/24
命をつなぐ絆ネットワーク会議	6/13
岸和田保健所研修会：アルコール依存症について事例検討	6/25
龍谷大学実習説明会参加	7/3
寺田病院医療研修会 「目の健康を守るために」 講師：國吉医師	8/6
寺田病院医療研修会 「皮膚科医師に教わるアトピーの治療について」 講師：大塚医師	8/21
弁護士会の防災研修：「視覚障害のある人に対する支援」	9/6
介護サービス相談員養成研修 講師として 「地域包括ケアシステムや包括等について」	9/20
龍谷大学実習生へのオリエンテーションの実施	9/20
日総研より社会福祉士実習開始：8日間	8日間
萬寿園：防災委員会（BCP）伝達研修等	3回
萬寿園：感染防止委員会：感染BCPの確認と伝達研修等	3回
萬寿園：研修会 「倫理と人権研修」	5/16
萬寿園：個人情報保護委員会	5/23

#### <いなば荘北部>

Kume Lab 地域密着型運営推進会議	2回
いのちをつなぐ絆ネットワーク会議	2回
牛滝の谷・北部合同会議	2回
岸和田市事業者連絡会運営会議	2回
みずの輪講演会 『あなたはどのような医療ケアを受けたいですか～ACPとは～』	5/22
岸和田市医師会看護専門学校 公衆衛生学Ⅱ学生対応	7/24
桃山学院大学社会福祉実習Ⅰ開始	8/13
長寿社会開発センター研究セミナー『意思決定支援』（配信視聴）	9/6

#### <いなば荘牛滝の谷>

運営推進会議「グループホーム三田」	3回
いのちをつなぐ絆ネットワーク会議	2回
牛滝の谷・北部合同ミーティング	2回
山直大学 公開講座：「いざという時の介護」包括職員による講座	4/12
「終活とACPIについて」包括職員による講話 JAいずみの山直下支店 女性部会セミナー	4/22
運営推進会議【デイサービスいきいきフィット】	4/30
北部住民啓発セミナー 「忘れてしまう私とその方を支える‘あなた’を守るこれからの生き方」 聴講	5/21



【みずの輪】講演会「人生の最終段階を考える」講師 川島正裕先生	5/22
長寿社会開発センター研究セミナー 「拒否・依存・攻撃 その時どうする？精神科医からのアドバイス」オンデマンド	6/18
モルテン「明日からできる床ずれ対策ケア」オンラインセミナー	6/19
山直図書館コラボイベントと秋のブックフェアに向けての打合せ	6/23
令和6年度「近畿ブロック地域包括ケア推進セミナー」ウェブ配信 受講	7/5
JAいずみの山滝支店 夏祭り	7/13
社協出前講座 「人生会議始めてみませんか」 受講	7/15
緩和ケア講演会 府中病院 「どうしたいのかを考えておくことや意思表示しておくことの大切さ」 受講	7/29
圏域内就労支援B事業所訪問 (包括周知及び図書館での地域資源紹介のための情報収集・資料集め)	8/3
圏域内グループホーム3ヶ所訪問 (包括周知及び図書館での地域資源紹介のための情報収集・資料集め)	8/13
桃山学院大学社会福祉士養成課程 実習生受け入れ開始	8/13
通所介護事業者向け・リハビリ専門職合同研修会 「回復期から在宅までのリハビリ専門職の目標設定と支援内容」	8/21
法人内研修 「介護予防と重度化防止」MS訪問看護ステーション田中俊氏	8/23
山直市民センター農文協講座:熱中症予防について 包括職員による講義	8/24
地域包括萬寿園主催 法定外研修「意思決定支援について」 受講	9/4
長寿社会開発センター「ライフステージに応じた意思決定支援」オンデマンド配信	9/6
みずの輪公開講座 「認知症かな？」って思ったら 受講	9/11

## ●令和6年度上半期 生活支援コーディネーターの活動報告

\*各包括の実績報告と重複するものもあります

### <都市中核圏域>

活動内容	回数
地域ケア会議・ネットワーク会議（専門職会議など）	6
地域活動の支援等（ニーズ調査、他市情報収集、見守り訪問同行、地区福祉委員会、民生委員会会議など）	8
地域サロン・相談会（サロン、リビング、ふれあい給食、相談会など）	2
地域体操支援（いき百・かみ百、健康体操など）	10
地域向け研修開催（生活援助サービス従事者研修会、住民向け研修など）	4
その他（組織内の会議、研修受講など）	9
<b>上半期の主な取り組み</b> いきいき百歳体操やサロン等に積極的に参加しSCDの啓発を行った。また、地域に出向いた際は個別ニーズ調査を実施した。 地域高齢者からリビング活動での参加者減少の課題を聴取し、地域の活動場所を探している子供の居場所づくり活動を行っているボランティアグループとのマッチングを行った。世代間交流を進めるとともに、地域住民へ居場所が必要な子供たちへの理解を深める場づくりに向けた支援を行った。	

### <久米田圏域>

活動内容	回数
地域ケア会議・ネットワーク会議（専門職会議など）	7
地域活動の支援等（ニーズ調査、他市情報収集、見守り訪問同行、地区福祉委員会、民生委員会会議など）	7
地域サロン・相談会（サロン、リビング、ふれあい給食、相談会など）	19
地域体操支援（いき百・かみ百、健康体操など）	37
地域向け研修開催（生活援助サービス従事者研修会、住民向け研修など）	7
その他（組織内の会議、研修受講など）	21
<b>上半期の主な取り組み</b> 地域活動に出向く中で、SCDの認知度が低いと感じ、事前に民生委員等に相談し、地区福祉委員会会議（町会役員、老人会、民生委員等が参加）にて、SCDの説明の機会を頂けたので、周知に努めた。また、下半期から再開予定であったサロンが、5月に本格的に再開した。包括職員、社協地区担当者、CSW等とも状況を共有し、サロン後に地域ケア会議を実施し、住民の把握が課題となり、「きんきゅうカード」を用いて、地域住民の現状把握を行った。	

### <中部圏域>

活動内容	回数
地域ケア会議・ネットワーク会議（専門職会議など）	5
地域活動の支援等（ニーズ調査、他市情報収集、見守り訪問同行、地区福祉委員会、民生委員会会議など）	3
地域サロン・相談会（サロン、リビング、ふれあい給食、相談会など）	17
地域体操支援（いき百・かみ百、健康体操など）	48
地域向け研修開催（生活援助サービス従事者研修会、住民向け研修など）	6
その他（組織内の会議、研修受講など）	7
<b>上半期の主な取り組み</b> 普段の生活で困っていることや、あったらいいな、と思うサービスを聞き出そうといきいき百歳体操やサロンに参加した。（スマートフォン講座の問い合わせがあり、調べてお伝えした。）いきいき百歳体操やサロンの今後の担い手をみつけられないか、と従事者研修会や地域の集いの場に参加した。地域の活動者、専門職と信頼関係を作るために、地域ケア会議や地域の集いの場に参加した。	

<葛城の谷圏域>

活動内容	回数
地域ケア会議・ネットワーク会議（専門職会議など）	5
地域活動の支援等（ニーズ調査、他市情報収集、見守り訪問同行、地区福祉委員会、民生委員会会議など）	1
地域サロン・相談会（サロン、リビング、ふれあい給食、相談会など）	31
地域体操支援（いき百・かみ百、健康体操など）	12
地域向け研修開催（生活援助サービス従事者研修会、住民向け研修など）	10
その他（組織内の会議、研修受講など）	10
<b>上半期の主な取り組み</b> 包括と一緒に、いき百の支援やサロン等に参加して、少しは地域の方との関りも出来てきた。天神山の出前講座では「栄養について」、土生住宅の出前講座では「認知症について」を開催し、たくさんの方に参加して頂いた。また、介護者家族の集いでは、参加された地域の方と介護の話をしながら、地域の現状等の情報収集も出来た。下半期に向けて、従事者研修修了者の方と地域のニーズがマッチすれば、地域との間の橋渡しが出来れば良いと考えている。	

<岸和田北部圏域>

活動内容	回数
地域ケア会議・ネットワーク会議（専門職会議など）	11
地域活動の支援等（ニーズ調査、他市情報収集、見守り訪問同行、地区福祉委員会、民生委員会会議など）	9
地域サロン・相談会（サロン、リビング、ふれあい給食、相談会など）	12
地域体操支援（いき百・かみ百、健康体操など）	7
地域向け研修開催（生活援助サービス従事者研修会、住民向け研修など）	6
その他（組織内の会議、研修受講など）	5
<b>上半期の主な取り組み</b> 松風町の移動販売が6月末で終了となったため、10月再開に向けて、地域住民（町会・民生委員）と打ち合わせを重ねた。移動販売に来てくれる店舗の調査を行い、実際に、店舗担当者が打ち合わせに参加できるように調整したことで、地域住民と担当者をつなげることができた。地域活動に熱心に取り組まれている地域住民の声を聴き、生活支援コーディネーターとして活動できることはないか模索しながら、今後もサポートしていきたいと考えている。	

<牛滝の谷圏域>

活動内容	回数
地域ケア会議・ネットワーク会議（専門職会議など）	8
地域活動の支援等（ニーズ調査、他市情報収集、見守り訪問同行、地区福祉委員会、民生委員会会議など）	35
地域サロン・相談会（サロン、リビング、ふれあい給食、相談会など）	24
地域体操支援（いき百・かみ百、健康体操など）	14
地域向け研修開催（生活援助サービス従事者研修会、住民向け研修など）	11
その他（組織内の会議、研修受講など）	8
<b>上半期の主な取り組み</b> 【岸和田市立図書館】と【地域包括いなば荘牛滝の谷】とのコラボ企画第1弾として、4月より山直市民図書館内に包括ブースを設け4月～8月は「地域包括支援センター及び介護保険制度（R6年度改正について）周知・啓発」、9月からは「認知症の正しい理解の周知・啓発（世界アルツハイマーデー、認知症月間）」をテーマに相談窓口や関連サービス・施設紹介、関連図書等紹介の展示等を展開。9月には「介護予防講座（フレイル・認知症）」と同時に一期サロン（集いの場）を開催。講義前にトルト（歩き方分析）を行い介護予防（運動）への取り組み動機付けを行い、講義で百歳体操・コグニサイズの体験を行った。今後も図書館包括ブースでは、定期的にテーマを設定し相談窓口や関連サービス紹介、関連図書等紹介等を展開予定。10月には市民対象の「認知症サポート養成講座（同時に一期サロン）」開催、同じく市民対象の「図書館まつり」に参加し包括やSCDの周知、介護・福祉の総合相談会を予定している。	

地域ケア会議実施状況

令和6年度

圏域	定例・臨時	テーマ	地域課題	出席メンバー	日時	出席人数	主な内容	会議の成果	5つの機能	
1	社協	臨時	リビングの運営について	地域のリビングの参加者、運営側の活動者が増えない	SCD ボランティア 社協	R6.8.5	16	・リビング参加者アンケート結果を共有 ・ニーズの整理を行い、今後の運営内容や活動者を増やす方法を検討	・リビング参加者アンケートより、移動販売のニーズが高いことが分かったため、移動販売の調整をすることになった。 ・地域貢献を考えている介護事業所に呼びかけ、イベントの企画に協力してもらうことになった。 ・参考になりそうな活動をしている地域へ見学に行く調整をすることになった。 ・活動のきっかけは高齢者の交流の場づくりだったが、世代間交流など年代に関わらず参加できる地域を作りたいという方針を確認できた。	②ネットワークの構築 ③地域課題の発見 ④地域づくり・資源開発
2	社協	臨時	いきいき百歳体操立ち上げに向けて	包括、SCD 老人会、地域住民 学校関係者 介護事業所 社協 介護保険課	R6.8.7	7	・校区の各町のいきいき百歳体操再開に向けた方向性を確認 ・近隣の会場に関する情報整理 ・地域住民の意向や各町役員との調整について検討	・体操再開のきっかけとして市主催の教室修了後、地域の介護事業所を期間限定で借り地域住民の体操体験会を調整した。 ・地域住民の活動意欲が向上し、3町が合同で継続して活動できる会場の選定・運営にかかる費用について、調整支援を行った。 ・中央小学校が「世代間交流の目的もあり協力いただくことになった。必要な書類・ルールの制定を支援してくれた。」 ・地域住民・小学校ともに相互利益になる条件を整理した。	②ネットワークの構築 ④地域づくり・資源開発	
3	社協	臨時			R6.9.18	7				
4	久米田	定例	地域の現状共有と町の抱える地域課題について	・高齢化による担い手不足 ・坂の下エリアが勾配がきつくゴミ出し困難 ・会館が狭く体操できない ・きんきゅうカードの普及が進んでいない	包括、SCD 民生委員、地域住民 社協	R6.6.3	5	・町の高齢化、世帯数などの情報共有 ・町会活動の状況把握 ・地域課題の整理、対応策の検討 ・きんきゅうカードの周知を通じた課題の抽出	・町の活動再開（月1回サロンを定期開催） ・地域課題の整理ができ、共通認識を持てた。 ・きんきゅうカードの登録や防災ゲームを通じて、災害対応の啓発や地域での要配慮者（外国人、障害者等）の有無を把握することができた。	①個別課題の解決 ②ネットワークの構築 ③地域課題の発見
5						R6.9.2	5			
6	中部	臨時	浜校区の高齢者の居場所づくり	・各町の会館が狭く、校区全体で集える場がない ・少子高齢化が進んでいる	包括、SCD 民生委員、福祉委員 老人会 CSW 福祉政策課 介護保険課	R6.8.6	17	・浜地区の現状、地域活動の報告 ・現在の地域課題 ・居場所づくりについて検討	・浜校区全体で取り組みリビングや子ども食堂がないことを共有し、リビングを進めるための会場の検討、使用にあたる問題点と確認事項を話し合えた。 ・集会所の老朽化に伴い、今後教育施設での教室活用等、新たな居場所の検討を提言した。	①個別課題の解決 ②ネットワークの構築 ③地域課題の発見 ④地域づくり・資源開発 ⑤政策形成の提言
7	葛城	臨時	地域の現状共有と町の抱える地域課題について	・高齢化が多く居住する集合住宅での見守り体制	包括 民生委員、老人会 ケアマネ CSW  ※自治会長、棟長等、当日欠席者は事前に意見確認済	R6.5.1	6	・要見守り高齢者の情報共有できたことで、地域住民と専門職間で協力体制がとれるようになった。 ・きんきゅうカードの再周知を老人会で行うことになった。 ・福祉専門職（包括・CSW）の担当変更に伴い、ポスターを会館や各棟掲示板に掲示してもらった。 ・認知症や詐欺被害防止のための出前講座の提案と、各棟掲示板へ掲示してもらうことができた。 ・介護事業所の業務（駐車場、ヘルパー用ダストボックス等）への理解を進めた。	①個別課題の解決 ②ネットワークの構築 ③地域課題の発見 ④地域づくり・資源開発	
8		定例				R6.7.31	7	・包括への相談内容を共有 ・民生委員や地域による見守り活動、サロンの参加状況について現状の確認 ・高齢者の生活や福祉活動で気になることを意見交換		
9						R6.8.27	5			
10	葛城	定例	地域の現状共有と町の抱える地域課題について	・高齢化が進む地域での見守り体制	包括 民生委員、福祉委員 町会役員	R6.5.16	9	・要見守り高齢者（認知症）等の情報交換、意見交換 ・町の高齢化、認定状況、包括への相談内容等の情報提供 ・町の見守り体制、サロンの参加状況の確認と課題の確認 ・きんきゅうカードの申込状況について共有	①個別課題の解決 ②ネットワークの構築 ③地域課題の発見 ④地域づくり・資源開発	
11						R6.6.20	9			
12						R6.9.28	9			

地域ケア会議実施状況

令和6年度

	圏域	定例・臨時	テーマ	地域課題	出席メンバー	日時	出席人数	主な内容	会議の成果	5つの機能
13	葛城	定例	地域の現状共有と町の抱える地域課題について	・高齢化が進む地域での見守り体制 ・担い手不足、町会加入率の低下、独居高齢者や空き家の増加 ・サロンの参加者減少 ・近隣の目を気にして介護保険の利用を控える傾向	包括 民生委員、福祉委員 老人会、地域住民 ボランティア 社協、CSW	R6.5.20	6	・要見守り高齢者等の情報交換、意見交換	・要見守り高齢者の情報共有できたことで、地域住民と専門職間で協力体制がとれるようになった。 ・災害時要支援者名簿の情報共有の範囲について現状確認できた。 ・独居高齢者や空き家が増加している現状を共有し、今後の課題となることを共通認識できた。 ・11/23の催してきんきゅうカードの周知（好事例）、介護保険が必要な状況時は利用の抵抗がないような案内をすることとなった。	①個別課題の解決 ②ネットワークの構築 ③地域課題の発見 ④地域づくり・資源開発
14						R6.6.17	6	・町の高齢化、認定状況等の情報提供		
15						R6.7.1	4	・包括への相談内容を共有 ・町会活動の現状（課題）について情報共有		
16						R6.8.19	6	・参加者、担い手の新規獲得のための11/23の催しの内容について打合せ		
17	葛城	臨時	認知症の方への対応と介護保険の利用について	認知症高齢者を地域で支える体制	包括 民生委員、ボランティア（地域住民）、本人  ※地域住民は当日欠席、事前に情報提供あり	R6.5.9	6	・要見守り高齢者等の情報交換、意見交換 ・今後の対応について協議	・安否確認を民生委員が行い、介護サービスも前倒しで導入を進めることとなった。 ・認知症による症状を情報共有することで、地域住民も対応方法を確認できた。 ・地域の高齢化が進んでおり、今後定期的な情報共有の場を設けることとなった。	①個別課題の解決 ②ネットワークの構築 ③地域課題の発見
18		定例	防災から考える地域の今後の姿	・災害時に必要な物品準備や使用方法、介助方法の知識不足 ・支援が必要な住民の情報共有が不十分 ・担い手が不十分	包括、SCD 民生委員、福祉委員 老人会、自治会、地域住民、CSW 社協、相談支援事業所 福祉政策課 介護保険課	R6.5.29	41	・地域で考えられる地震被害について情報提供 ・避難経路、災害時シュミレーションについてグループワーク ・避難行動要支援者支援プラン、ボランティアセンターについて情報提供	・グループワークを通じて、健康でいること、日頃からの地域の声かけが大切であること等の気づきを促せた。 ・防災講座開催の検討をしてもらうことになった。	②ネットワークの構築 ③地域課題の発見 ④地域づくり・資源開発
19		定例	地域の現状報告と気になる事例の情報共有	・見守り支援体制の強化が必要 ・空き家や独居高齢者が増加 ・認知症高齢者が増加	包括 民生委員 福祉委員	R6.6.25	6	・支援対象者の情報共有	・支援対象者を地域で見守りしてもらえることになった。 ・空き家や独居高齢者の状況を共有できた。 ・きんきゅうカードを回覧板で周知、今後は自治会未加入者や必要な人へ、きんきゅうカードの情報提供や、郵便局での受付方法を説明していくことになった。民生委員会議でも共有した。 8/28.29できんきゅうカードの引き渡し説明会を行った。 ・老人大学の来年度計画時に、地域での課題（認知症高齢者の増加）についての講話を入れる方向で調整することとなった。	①個別課題の解決 ②ネットワークの構築 ③地域課題の発見
20						R6.7.30	6	・包括の相談件数や支援の情報提供		
21						R6.9.24	6	・地域活動の情報共有 ・きんきゅうカードの情報提供 ・地域で感じる課題の共有		
22	葛城	臨時	旭校区各町での定例地域ケア会議の開催について	・民生委員の活動に関して地域住民の理解が必要 ・町会加入率が低い ・町が大きく、課題を検討するには細分化が必要	包括 民生委員、児童委員 町会、福祉委員 社協	R6.9.26	22	・各町の支援対象高齢者等の情報共有 ・包括の相談件数や支援の情報提供 ・地域活動の情報共有 ・地域で感じる課題の共有	・町規模が大きすぎるため、地域の高齢者を把握するために細分化は必要だが難しい状況とのこと。まずは町全体での地域ケア会議を試行することとなった。 ・開催頻度は町の抱える背景も考慮して、今後検討することになった。	②ネットワークの構築 ③地域課題の発見 ④地域づくり・資源開発
23	北部	臨時	一人暮らしで運転や金銭管理など複数の課題を抱える高齢者について、支援者間の関係づくりと情報・課題の共有	・複数の課題を抱える高齢者の対応方法	包括、SCD 民生委員、町会役員 LSA(生活援助員) CSW ケアマネ	R6.6.24	7	・支援対象高齢者の支援経過と現状について情報共有、意見交換 ・今後の対応や支援について検討	・トラブル防止のため金銭管理や書類管理については同行訪問での対応をすることとなった。 ・認知症疑いもあり、受診方法などの対応策を検討できた。 ・専門職が一堂に会することでお互いに不足している情報を補い、優先順位の高い課題を共有し、それぞれの役割や今後の支援の方向性を確認できた。	①個別課題の解決 ②ネットワークの構築

地域ケア会議実施状況

令和6年度

圏域	定例・臨時	テーマ	地域課題	出席メンバー	日時	出席人数	主な内容	会議の成果	5つの機能
24 北部	臨時	これから住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、現在生じている困りごとについて、住民と支援者間で情報共有する	・被害妄想のある高齢者と地域の関わり方	包括 民生委員、町会長 地域住民、市議会議員 警察、保健所	R6.9.4	21	・精神疾患のある高齢者と関わる地域での困りごとについて情報共有 ・警察や保健所等の対応状況と今後の連携について	・情報共有できたことで、住民の不安を緩和できた。 ・警察から住民に対し些細な内容でも通報協力を呼びかけできた。 ・保健所から精神科入院の流れの説明を聞くことで、地域・各機関との連携の必要性を確認できた。	①個別課題の解決 ②ネットワークの構築
25 牛滝	臨時	地域の現状と取り組みを共有し、課題を明確化する	・ボランティアの高齢化 ・次の担い手不足 ・若い世代が地域の課題を知らない ・都市整備の課題	包括 福祉委員、老人会 ボランティア	R6.6.10	7	・町の高齢化率、世帯数の動向について情報提供 ・自治会組織と活動の現状について ・課題の明確化と共有	・地域活動の現状を知ることで、課題を明確化できた ・課題内容に応じて関係機関とも連携をとる必要性を認識できた。 ・運動が苦手な人にも参加できるような活動を検討できた。	③地域課題の発見

## 〇地域包括支援センターの事業評価一覧表

※令和6年の全国割合は、令和7年2月頃に発表されるため、現時点では「-」で表示しています。

1 組織・運営体制等																													
(1)組織運営体制																													
市指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	センター指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4		
		市			全国					社協			久米田			中部			葛城			北部			牛滝			全国	
Q19	運営協議会での議論を経て、センターの運営方針を策定し、センターへ伝達しているか。	○	○	○	-	72.8%	70.4%	Q11	市が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	95.1%	94.8%
Q20	年度ごとのセンターの事業計画の策定に当たり、センターと協議を行っているか。	○	○	○	-	77.1%	76.2%	Q11-1	事業計画の策定に当たって、市と協議し、市から受けた指摘がある場合、これを反映しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	88.9%	88.2%
Q21	前年度における運営協議会での議論を踏まえ、センターの運営方針、センターへの支援・指導の内容を改善したか。	○	○	○	-	49.3%	47.8%	Q12	市の支援・指導の内容により、逐次、センターの業務改善が図られているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	96.6%	96.4%
Q22	市町村とセンターの間の連絡会合を、定期的に開催しているか。	○	○	○	-	87.3%	87.0%	Q13	市が設置する定期的な連絡会合に、毎回、出席しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	94.3%	94.4%
Q23	センターに対して、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報を提供しているか。	○	○	○	-	97.4%	96.9%	Q14	市から、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報の提供をうけているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	97.7%	97.9%
								Q15	把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの実情にに応じた重点業務を明らかにしているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	87.0%	85.8%
Q24	センターに対して、介護保険法施行規則に定める原則基準に基づく3職種の配置を義務付けているか。	○	○	○	-	93.9%	92.1%	Q16	市から配置を義務付けられている3職種を配置しているか。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	-	62.2%	61.3%
Q25	センターにおいて、3職種（それぞれの職種の準ずる者は含まない）が配置されているか。	×	×	×	-	74.8%	74.0%																						
Q26	センターの3職種（準ずる者含む）一人当たり高齢者数（圏域内の高齢者数／センター人員）の状況が1,500人以下であるか。	×	×	×	-	62.6%	61.6%																						
Q27	センター職員の資質向上の観点から、センター職員を対象とした研修計画を策定し、年度当初までにセンターに示しているか。	○	○	○	-	51.4%	50.3%	Q17	市から、年度当初までに、センター職員を対象とした研修計画が示されているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	73.3%	70.9%
								Q18	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修を実施しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	80.5%	79.9%

Q28	センターに対して、夜間・早朝の窓口（連絡先）の設置を義務付けているか。	○	○	○	-	77.1%	76.5%	Q19	夜間・早朝の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	72.5%	70.4%
Q29	センターに対して、平日以外の窓口（連絡先）の設置を義務付けているか。	○	○	○	-	79.8%	79.4%	Q20	平日以外の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	75.5%	74.2%
Q30	市町村の広報紙やホームページなどでセンターの周知を行っているか。	○	○	○	-	96.5%	96.5%	Q21	パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	97.7%	97.4%
Q31	介護サービス情報公表システム等において、センターの事業内容・運営状況に関する情報を公表しているか。	○	○	○	-	85.8%	84.8%																								

## (2) 個人情報の保護

市指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	センター指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4			
		市			全国					社協			久米田			中部			葛城			北部			牛滝			全国		
Q32	個人情報保護に関する市町村の取扱方針をセンターに示しているか。	○	○	○	-	95.5%	94.5%	Q22	個人情報保護に関する市の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル(個人情報保護方針)を整備しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	94.5%	93.4%				
Q33	個人情報が漏えいした場合の対応など、センターが行うべき個人情報保護の対応について、センターへ指示しているか。	○	○	○	-	86.0%	84.2%	Q23	個人情報が漏えいした場合の対応など、市から指示のあった個人情報保護のための対応を、各職員へ周知しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	91.5%	90.4%				
								Q24	個人情報保護に関する責任者(常勤)を配置しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	95.1%	94.4%					
Q34	センターからの個人情報漏えい等の報告事案に対し、対応策を指示・助言しているか。	○	○	○	-	91.2%	90.6%	Q25	個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	76.7%	73.1%					

## (3) 利用者満足の向上

市指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	センター指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4			
		市			全国					社協			久米田			中部			葛城			北部			牛滝			全国		
Q35	苦情内容の記録等、苦情対応に関する市町村の方針をセンターに示しているか。	○	○	○	-	86.2%	85.1%	Q26	市の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	97.3%	96.7%				
Q36	センターが受けた介護サービスに関する相談について、センターから市町村に対して報告や協議を受ける仕組みを設けているか。	○	○	○	-	96.4%	96.4%	Q27	センターが受けた介護サービスに関する相談について、市に対して報告や協議を行う仕組みが設けられているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	97.2%	96.8%				
Q37	相談者のプライバシーが確保される環境整備に関する市町村の方針をセンターに示しているか。	○	○	○	-	82.8%	81.8%	Q28	相談者のプライバシー確保に関する市の方針に従い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	96.8%	96.1%				



2 個別業務																																			
(1)総合相談支援業務																																			
市指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	センター指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4					
		市			全国					社協			久米田			中部			葛城			北部			牛滝			全国							
Q38	市町村レベルの関係団体(民生委員等)の会議に、定期的に参加しているか。	○	○	○	-	87.9%	85.5%																												
								Q29	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	94.9%	95.0%				
Q39	センターと協議しつつ、センターにおいて受けた相談事例の終結条件を定めているか。	○	○	○	-	55.1%	53.6%	Q30	相談事例の終結条件を、市と共有しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	79.1%	77.4%				
Q40	センターにおける相談事例の分類方法を定めているか。	○	○	○	-	91.5%	90.8%	Q31	相談事例の分類方法を、市と共有しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	95.3%	94.9%				
Q41	1年間におけるセンターの相談件数を把握しているか。	○	○	○	-	98.0%	98.4%	Q32	1年間の相談事例の件数を市に報告しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	98.6%	98.6%				
Q42	センターからの相談事例に関する支援要請に対応したか。	○	○	○	-	96.5%	96.2%	Q33	相談事例解決のために、市への支援を要請し、その要請に対し市から支援がありましたか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	96.4%	96.3%				
Q43	センターが対応した家族介護者からの相談について、相談件数・相談内容を把握しているか。	○	○	○	-	92.1%	90.6%	Q34	家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	91.9%	86.8%				
(2)権利擁護業務																																			
市指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	センター指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4					
		市			全国					社協			久米田			中部			葛城			北部			牛滝			全国							
Q45	成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準をセンターと共有しているか。	○	○	○	-	84.2%	82.5%	Q36	成年後見制度の市長申し立てに関する判断基準が、市から共有されているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	86.8%	85.0%				
Q46	高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れを整理し、センターと共有しているか。	○	○	○	-	94.7%	93.4%	Q38	高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市と共有しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	98.0%	97.5%				
Q47	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。	○	○	○	-	96.2%	95.2%	Q39	センターまたは市が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	97.7%	97.0%				

Q48	消費生活に関する相談窓口及び警察に対して、センターとの連携についての協力依頼を行っているか。	○	○	○	-	84.0%	82.5%	Q40	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	92.3%	91.4%	
								Q41	消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	86.6%	84.2%	
(3)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務																														
市指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	センター指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4
		市			全国					社協			久米田			中部			葛城			北部			牛滝			全国		
Q49	日常生活圏域ごとの居宅介護支援事業所のデータを把握し、センターに情報提供しているか。	○	○	○	-	82.7%	82.9%	Q42	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータを把握しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	94.0%	92.7%	
Q50	センターと協議の上、センターが開催する介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を作成しているか。	○	○	○	-	72.3%	71.9%	Q43	介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に、指定居宅介護支援事業所に示しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	76.9%	72.9%	
Q51	介護支援専門員を対象に、包括的・継続的ケアマネジメントを行うための課題や支援などに関するアンケートや意見収集等を行い、センターに情報提供を行っているか。	○	○	○	-	54.0%	52.0%	Q44	介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市からの情報提供や、市による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	89.5%	87.8%	
Q52	地域の介護支援専門員の実践力向上を図ることなどを目的とした、地域ケア会議や事例検討等を行うことができるように、センター職員を対象とした研修会を開催しているか。	○	○	○	-	56.3%	55.6%			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	86.1%	82.2%
Q53	介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者との意見交換の場を設けているか。	○	○	○	-	81.6%	80.7%	Q45	担当圏域の居宅介護支援員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者との意見交換の場を設けているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	86.1%	82.2%	
								Q46	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	82.1%	75.9%	
Q54	センターが介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。	○	○	○	-	75.9%	77.1%	Q47	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	81.4%	80.4%	

(4)地域ケア会議																														
市指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	センター指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4
		市			全国					社協			久米田			中部			葛城			北部			牛滝			全国		
Q55	地域ケア会議が発揮すべき機能・構成員、スケジュールを盛り込んだ開催計画を策定し、センターに示しているか。	○	○	○	-	69.8%	69.3%	Q48	地域ケア会議が発揮すべき機能・構成員、スケジュール等を盛り込んだ開催計画が市から示されているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	85.6%	84.6%	
Q55-1	地域の医療・介護・福祉等の関係者に、策定した地域ケア会議の開催計画を周知しているか。 (Q55で「1」(○)の場合のみ回答する欄です。Q55で「×」の場合は、「×」を選択してください。)	○	○	×	-	58.8%	57.7%																							
Q56	センター主催の地域ケア会議の運営方法や、市町村主催の地域ケア会議との連携に関する方針を策定し、センターに対して周知しているか。	○	○	○	-	71.3%	69.4%	Q49	センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	85.0%	81.6%	
Q59	センター主催の個別事例について検討する地域ケア会議に参加しているか。	○	○	○	-	88.5%	88.9%	Q50	センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	92.2%	90.8%	
Q61	地域ケア会議において多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	○	○	○	-	88.0%	87.9%	Q53	センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	83.4%	80.6%	
Q62	センターと協力し、地域ケア会議における個人情報の取扱方針を定め、センターに示すとともに、市町村が主催する地域ケア会議で対応しているか。	○	○	○	-	80.6%	79.3%	Q54	市から示された地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	91.2%	88.7%		
Q63	地域ケア会議の議事録や検討事項を構成員全員が共有するための仕組みを講じているか。	○	○	○	-	79.8%	79.6%	Q55	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	86.2%	85.0%		
Q64	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築し、かつ実行しているか。	○	○	○	-	69.2%	69.8%	Q56	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	83.5%	81.8%		
Q65	生活援助の訪問回数の多いケアプラン（生活援助中心のケアプラン）の地域ケア会議等での検証について実施体制を確保しているか。	○	○	○	-	60.5%	61.9%																							

Q67	センター主催の地域課題に関して検討する地域ケア会議に参加しているか。	○	○	○	-	77.0%	75.4%	Q51	センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	76.6%	73.0%
Q68	センター主催の地域ケア会議で検討された内容を把握しているか。	○	○	○	-	88.6%	87.2%	Q57	センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市に報告しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	92.0%	90.1%
Q69	センター主催及び市町村主催も含めた、地域ケア会議の検討内容をとりまとめて、住民向けに公表しているか。	○	×	×	-	16.4%	15.6%																							
Q70	複数の個別事例から地域課題を明らかにし、これを解決するための政策を市町村に提言しているか。	○	○	×	-	52.0%	49.0%																							
(5)介護予防ケアマネジメント・介護予防支援																														
市指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	センター指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4
		市			全国					社協			久米田			中部			葛城			北部			牛滝			全国		
Q71	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関する市町村の基本方針を定め、センターに周知しているか。	○	○	○	-	72.2%	70.1%	Q58	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	83.6%	81.7%	
Q72	センター、介護支援専門員、生活支援コーディネーター、協議体に対して、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源に関する情報を提供しているか。	○	○	○	-	85.5%	84.8%	Q59	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	96.7%	96.2%	
Q73	利用者のセルフマネジメントを推進するため、介護予防手帳などの支援の手法を定め、センターに示しているか。	○	○	○	-	39.0%	37.7%	Q60	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市から示された支援の手法を活用しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	60.8%	58.5%	
Q74	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定について、公平性・中立性確保のための指針を作成し、センターに明示しているか。	○	○	○	-	68.9%	66.3%	Q61	介護予防マネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針が市から示されているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	86.1%	85.2%		
Q75	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際のセンターの関与について、市町村の方針をセンターに対して明示しているか。	○	○	○	-	68.6%	66.0%	Q62	介護予防マネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	95.0%	94.5%		
Q76	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援におけるセンターの人員体制と実施件数を把握しているか。	○	○	○	-	95.9%	96.5%																							

### 3 事業間連携(社会保障充実分事業)

市指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	センター指標		R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4			
		市			全国					社協			久米田			中部			葛城			北部			牛滝			全国		
Q77	医療関係者とセンターの合同の事例検討会の開催または開催支援を行っているか。	○	○	○	-	75.6%	74.3%	Q63	医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	83.9%	78.9%			
Q78	医療関係者とセンターの合同の講演会・勉強会等の開催または開催支援を行っているか。	○	○	○	-	83.3%	81.4%	Q64	医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	94.1%	91.0%			
Q79	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口とセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。	○	○	○	-	88.7%	88.1%	Q65	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	85.5%	84.5%			
Q80	認知症初期集中支援チームとセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。	○	○	○	-	92.6%	92.6%	Q66	認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	89.4%	89.0%			
Q81	生活支援コーディネーターや協議体とセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。	○	○	○	-	92.4%	92.2%	Q67	生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	92.2%	90.9%			

## 地域密着型サービス事業所の新規指定状況一覧（令和6年11月1日現在）

資料4

7月2日～11月1日

○地域密着型通所介護

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
株式会社TAC	デイサービスストップ	18名	岡山町452番地の1	牛滝の谷地域	令和6年10月1日	令和12年9月30日	

## 地域密着型サービス事業所の廃止状況一覧（令和6年11月1日現在）

7月2日～11月1日

○地域密着型通所介護

法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	廃止日	備考
株式会社グリーンマリン	デイサービス グリースマイル1号館	13名	加守町二丁目6番2号	都市中核地域	令和1年9月1日	令和6年7月31日	
株式会社ライフサポート谷脇	デイサービス 花水木 色彩	18名	南上町二丁目24番13号	岸和田中部地域	平成28年4月1日	令和6年8月25日	
フォーユー株式会社	東岸和田リハビリステーションまほろば	7名	作才町1165番地	葛城の谷地域	平成29年4月1日	令和6年9月10日	

## 地域密着型サービス事業所の指定状況一覧（令和6年11月1日現在）

### ○定期巡回・随時対応型訪問介護看護

	法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
1	（社福）寺田萬寿会	定期巡回・随時対応訪問ケア まんじゅ	※	南上町一丁目48番5号	都市中核地域	平成25年4月12日	令和7年4月11日	
2	（社福）寺田萬寿会	定期巡回・随時対応訪問ケア萬寿園	※	尾生町808番地	岸和田中部地域	令和5年4月1日	令和11年3月31日	

### ○夜間対応型訪問介護

	法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
1	（社福）寺田萬寿会	夜間対応型訪問介護 ナイトヘルパー萬寿園	※	尾生町808番地	岸和田中部地域	平成19年3月1日	令和7年2月28日	

### ○認知症対応型通所介護（介護予防認知症対応型通所介護）

	法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
1	（社福）寺田萬寿会	特別養護老人ホーム 萬寿園	24名	尾生町808番地	岸和田中部地域	平成12年4月1日	令和8年3月31日	2単位
2	（社福）寺田萬寿会	まんじゅ デイサービスセンター	20名	南上町二丁目5番6号	都市中核地域	平成19年10月1日	令和7年9月30日	2単位
3	（社医）慈薫会	社会医療法人慈薫会認知症対応型通所介護大阪緑ヶ丘	6名	神須屋町662番地の2	葛城の谷地域	平成27年6月1日	令和9年5月31日	2単位

### ○地域密着型通所介護

	法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
1	社会福祉法人光生会	ピープルデイサービスセンターきしわだ	15名	尾生町2130番地4	岸和田中部地域	平成28年4月1日	令和8年3月31日	
2	株式会社グリーンマリン	デイサービス グリンスマイル2号館	18名	沼町18-1	都市中核地域	平成28年4月1日	令和12年8月31日	
3	久米田池庵株式会社	元気でレッツゴー久米田池	13名	岡山町527番地の2	牛滝の谷地域	平成28年4月1日	令和7年4月30日	
4	医療法人大植医院	医療法人大植医院芙蓉メディカルサポート	10名	大町367番地	久米田地域	平成28年4月1日	令和10年2月29日	
5	株式会社凜花苑	デイサービスセンター凜花苑	10名	下野町一丁目11番23号	都市中核地域	平成28年4月1日	令和10年10月31日	
6	株式会社さたき	デイサービスセンター青い鳥	15名	西大路町3-1	久米田地域	平成28年4月1日	令和11年3月31日	
7	特定非営利活動法人クオリティー・オブ・ライフ	中央デイサービス	18名	藤井町二丁目5番34号	都市中核地域	平成28年4月1日	令和11年8月31日	

## 地域密着型サービス事業所の指定状況一覧（令和6年11月1日現在）

### ○地域密着型通所介護

	法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
8	株式会社ライフパートナー	アムールデイサービス岸和田	15名	池尻町686番地の7	久米田地域	平成28年4月1日	令和11年9月30日	
9	株式会社アキコーポレーション	樹楽団らんの家東岸和田	15名	土生町62-1	葛城の谷地域	平成28年4月1日	令和11年10月31日	
10	株式会社ヤマシタ	デイサービスときわ	15名	上松町1丁目7番1号	岸和田中部地域	平成28年4月1日	令和12年6月30日	
11	大阪みなみ医療福祉生活協同組合	デイサービスひなた	10名	大町四丁目1番地10号	久米田地域	平成28年4月1日	令和12年6月30日	
12	株式会社そうせい介護支援事業所	そうせいデイ春木	10名	春木本町9番15号	岸和田北部地域	平成28年4月1日	令和12年10月31日	
13	有限会社妙薫	すいめい介護支援センター	8名	三田町93番地の2	牛滝の谷地域	平成28年4月1日	令和8年11月30日	
14	株式会社SOSO	デイサービス徒然	13名	摩湯町726番地4	牛滝の谷地域	平成28年4月1日	令和7年2月28日	
15	株式会社グリーン介護サービス	デイサービス グリーン	18名	荒木町一丁目8番3号	岸和田北部地域	平成28年4月1日	令和7年9月30日	
16	ウエルネスネット株式会社	アルケルデイサービス	7名	土生町309番地	葛城の谷地域	平成28年4月1日	令和7年11月30日	
17	株式会社結屋	結屋岸和田デイセンター	10名	作才町1181番地	葛城の谷地域	平成28年4月1日	令和8年9月30日	
18	有限会社結い	デイサービス ゆいの集い	16名	西之内町10番2号	都市中核地域	平成28年4月1日	令和9年2月28日	
19	有限会社 マエダケアサービス	ソラーレ	10名	別所町1-19-13	都市中核地域	平成28年4月1日	令和9年4月30日	
20	ライジングサン株式会社	デイサービス花りぼん	15名	宮前町10-14	都市中核地域	平成28年4月1日	令和9年11月30日	
21	久米田池庵株式会社	元気でレッツゴー	15名	大北町6番5号	都市中核地域	平成28年8月1日	令和10年7月31日	
22	株式会社ピア	OKハウス	8名	小松里町2065番地 コマツビル105号	久米田地域	平成28年10月1日	令和10年9月30日	
23	株式会社ピア	OKハウス友	9名	小松里町2064番地 MKビル101号	久米田地域	平成28年10月1日	令和10年9月30日	



## 地域密着型サービス事業所の指定状況一覧（令和6年11月1日現在）

### ○地域密着型通所介護

	法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
24	株式会社ケアステーションくら	白ゆりデイサービス岸和田	5名	極楽寺町182-9	葛城の谷地域	平成29年4月1日	令和11年3月31日	
25	アプリコットマネジメント株式会社	デイサービスセンター和み家	18名	畑町三丁目14番11号	葛城の谷地域	平成29年5月1日	令和11年4月30日	
26	ALLAGI株式会社	デイサービスきたえるーむ岸和田下松	18名	下松町一丁目13-7	岸和田中部地域	平成29年7月1日	令和11年6月30日	
27	特定非営利活動法人よりあい倶楽部	よりあいデイサービス あおぞら	15名	磯上町5丁目19番14号	岸和田北部地域	平成29年8月1日	令和11年7月31日	
28	株式会社介護NEXT	GENKINEXT岸和田下松	10名	下松町3丁目5-52	岸和田中部地域	平成29年10月1日	令和11年9月30日	
29	株式会社貴陽	ハツラツ倶楽部 みんなのふるさと	14名	三田町117番地-1	牛滝の谷地域	平成30年3月1日	令和12年2月28日	
30	社会福祉法人岸和田市社会福祉協議会	デイサービスセンターほっと久米田	10名	下池田町2丁目1番15号	久米田地域	平成30年8月1日	令和12年7月31日	
31	特定非営利活動法人福笑	作業所ふくわらい	10名	上野町西27番80号 川口ビル101号室、102	都市中核地域	平成31年4月1日	令和7年3月31日	共生型
32	株式会社ユウリック	デイサービス1（ワン）	10名	宮本町20番3	都市中核地域	平成31年4月1日	令和7年3月31日	
33	株式会社サニーオーク	デイサービス ティエール・岸和田	13名	荒木町1丁目18番3号	岸和田北部地域	令和2年3月1日	令和8年2月28日	
34	医療法人利田会	医療法人利田会 デイサービスセンターうらら	15名	尾生町2979番地4	岸和田中部地域	令和2年7月1日	令和8年6月30日	
35	合同会社FEED	デイサービス ゆうび	10名	岡山町80-3	牛滝の谷地域	令和2年10月1日	令和8年9月30日	
36	有限会社文左エ門商店	ポシブル岸和田	14名	土生町2丁目30-39	葛城の谷地域	令和3年5月1日	令和9年4月30日	
37	有限会社エスオニオン	いきいきフィット	10名	岡山町355番地の1	牛滝の谷地域	令和元年10月1日	令和7年9月30日	
38	合同会社あすなろ	デイサービスセンター あすなろ	18名	畑町四丁目3番1号	葛城の谷地域	令和3年12月1日	令和9年11月30日	
39	株式会社山下社中	デイサービスいろは	10名	春木本町13番8号	岸和田北部地域	令和4年9月1日	令和10年8月31日	
40	合同会社こねくと	デイサービス愛の実	9名	岸和田市戎町5番5号	岸和田北部地域	令和5年4月1日	令和11年3月31日	
41	株式会社TAC	デイサービスストップ	18名	岡山町452番地の1	牛滝の谷地域	令和6年10月1日	令和12年9月30日	

## 地域密着型サービス事業所の指定状況一覧（令和6年11月1日現在）

### ○小規模多機能型居宅介護（介護予防小規模多機能型居宅介護）

	法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
1	（有）マエダケアサービス	マエダケアフラット	12名	別所町一丁目19-13	都市中核地域	平成19年4月1日	令和7年3月31日	（通所6名宿泊2名）
2	（社福）寺田萬寿会	居宅介護 まんじゅ	25名	南上町一丁目48-5	都市中核地域	平成19年10月1日	令和7年9月30日	（通所15名宿泊5名）
3	（株）生活支援センター・ひまわり	介護多機能型施設 つばらつばら	18名	大町448番地の5	久米田地域	平成19年10月1日	令和7年9月30日	（通所12名宿泊6名）
4	（株）そよかぜ	さくらの苑 内畑	25名	内畑町541番地 石谷マンション	牛滝の谷地域	平成20年1月1日	令和7年12月31日	（通所15名宿泊5名）
5	株式会社ヘリアントス	Kume Lab（クメラボ）	25名	荒木町2-19-4	岸和田北部地域	令和3年5月1日	令和9年4月30日	（通所15名宿泊6名）

### ○認知症対応型共同生活介護（介護予防認知症対応型共同生活介護）

	法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
1	（社福）高陽会	グループホーム風の里	18名	中井町三丁目2番27号	岸和田北部地域	平成19年5月1日	令和7年4月30日	
2	（社福）寺田萬寿会	グループホームまんじゅ	18名	南上町二丁目5番6号	都市中核地域	平成19年10月1日	令和7年9月30日	
3	（社福）嘉舟会	グループホームいなば	9名	稲葉町1066番地	牛滝の谷地域	平成20年4月1日	令和8年3月31日	
4	（社医）慈薫会	グループホーム大阪緑ヶ丘	18名	神須屋町662番地の2	葛城の谷地域	平成20年6月1日	令和8年5月31日	
5	（医）徳洲会	医療法人徳洲会 グループホーム三田	9名	三田町134番地	牛滝の谷地域	平成20年6月1日	令和8年5月31日	
6	（有）清寿会	グループホーム正寿苑	18名	稲葉町2552番地の2	牛滝の谷地域	平成20年9月1日	令和8年8月31日	
7	（医）利田会	グループホームやすらぎ	9名	尾生町2980番地の1	岸和田中部地域	平成21年5月1日	令和9年4月30日	
8	（株）ライフパートナー	グループホーム アムール岸和田	18名	池尻町686番地の7	久米田地域	平成23年3月1日	令和11年2月28日	

### ○地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

	法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日	備考
1	（社福）和秀会	岸和田北特別養護老人ホーム	29名	磯上町三丁目3番13号	岸和田北部地域	平成26年4月1日	令和8年3月31日	
2	（社福）和成会	社会福祉法人和成会ひまわりの郷	29名	小松里町938-2	久米田地域	平成26年4月1日	令和8年3月31日	
3	（社福）レーバング	特別養護老人ホーム 岸和田天神山荘	29名	流木町337-7	葛城の谷地域	平成27年2月1日	令和9年1月31日	

## 地域密着型サービス事業所の指定状況一覧（令和6年11月1日現在）

### ○介護予防支援

	法人名称	事業所名称	定員	事業所所在地	生活圏域	指定年月日	有効期間満了日
1	（社福）岸和田市社会福祉協議会	岸和田市地域包括支援センター社協	※	野田町1丁目5番5号	都市中核（浜、城内を除く）	平成18年4月1日	令和12年3月31日
2	（社福）寺田萬寿会	岸和田市地域包括支援センター萬寿園中部	※	尾生町808番地	岸和田中部地域、都市中核（浜、城内）	平成20年6月1日	令和8年5月31日
3	（社福）嘉舟会	岸和田市地域包括支援センターいなば荘牛滝の谷	※	稲葉町1066番地	牛滝の谷地域	平成20年6月1日	令和8年5月31日
4	（社福）嘉舟会	岸和田市地域包括支援センターいなば荘北部	※	荒木町2-21-59	岸和田北部地域	平成25年10月1日	令和7年9月30日
5	（社福）寺田萬寿会	岸和田市地域包括支援センター萬寿園葛城の谷	※	土生町二丁目30番12号 泉洋ビル3F 302号	葛城の谷地域	平成25年10月1日	令和7年9月30日
6	（社福）岸和田市社会福祉協議会	岸和田市地域包括支援センター社協久米田	※	下池田町2丁目1番15号	久米田地域	平成25年10月1日	令和7年9月30日
7	株式会社山下社中	ケアプランいろは	※	岸和田市春木本町13番8号	岸和田北部地域	令和6年4月1日	令和12年3月31日
8	特定非営利活動法人大阪南高齢者福祉サポートアドバイスプロ	ケアセンターSAP	※	岸和田市宮本町40番12号	都市中核地域	令和6年4月1日	令和12年3月31日
9	社会福祉法人嘉舟会	いなば荘居宅介護支援事業所	※	岸和田市稲葉町1066番地	牛滝の谷地域	令和6年4月1日	令和12年3月31日
10	株式会社KIHプロダクト	ばらの木	※	岸和田市作才町一丁目6番6号	葛城の谷地域	令和6年4月1日	令和12年3月31日
11	株式会社貴陽	きぼうの輪	※	岸和田市三田町117番地の1	牛滝の谷地域	令和6年6月1日	令和12年5月31日
1	医療法人社団EMI FULL	ケアプランセンターさつき通り	※	泉北郡忠岡町忠岡東一丁目15番31-301号		令和6年9月1日	令和12年8月31日

## 令和6年度 第9期介護保険計画に基づく施設整備事業者選考結果

資料5

### (1) 公募（本申請）受付期間

募集事業所	受付期間
地域密着型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）1事業所	令和6年8月23日（金）～9月20日（金）
特定施設入居者生活介護、介護予防特定施設入居者生活介護（100床）	

### (2) 応募事業者数

募集事業所	応募事業者数
地域密着型サービス（看護小規模多機能型居宅介護）	応募なし
特定施設入居者生活介護、介護予防特定施設入居者生活介護	2法人

### (3) 特別養護老人ホーム等整備運営事業受託候補者選考委員会

日時・場所： 令和6年10月23日（水） 15:00～16:00 岸和田市役所 第2委員会室

選定事業者： 特定施設入居者生活介護、介護予防特定施設入居者生活介護事業者  
株式会社ベストライフ西日本（ベストライフ岸和田） 60床

## 1. 介護保険法施行規則の改正の経緯

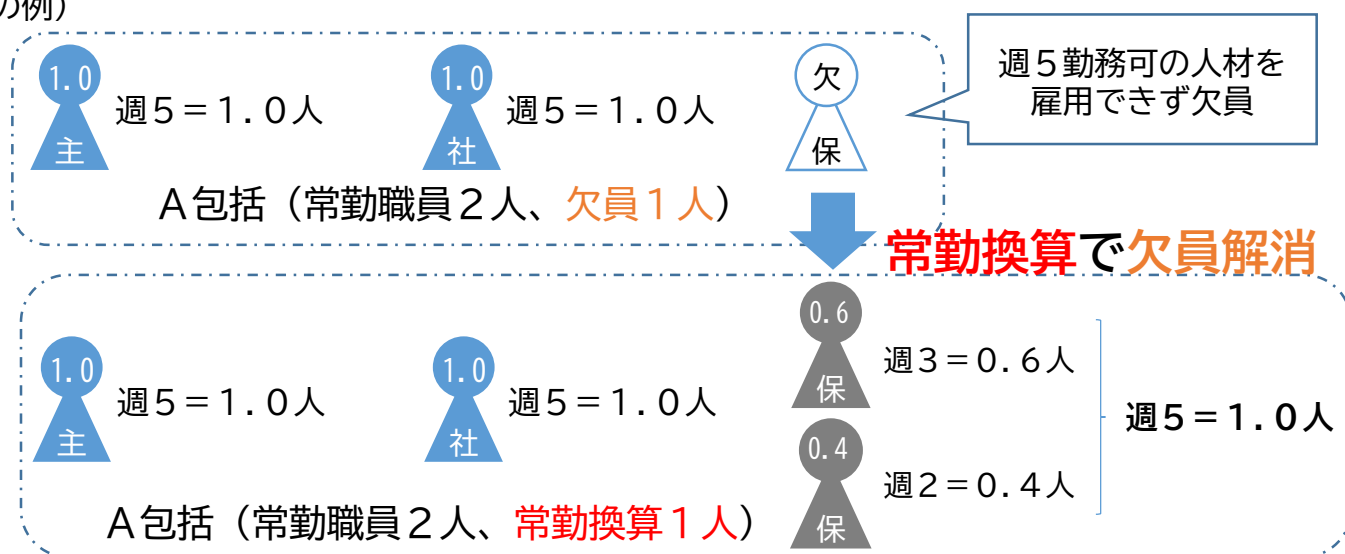
全国的に地域包括支援センターの人材確保が困難となっている状況に対処するため、社会保障審議会介護保険部会（令和4年12月20日）の意見や、令和5年度地方分権改革提案において、地域包括支援センターの職員確保が困難なため配置要件の見直しの提案がなされたこと等を踏まえ、令和6年4月1日に、介護保険法施行規則が改正され、地域包括支援センターの職員配置の基準が改められました。

## 2. 改正内容について

① 高齢者人口に応じて、又は、地域包括支援センター（包括）の運営の状況を勘案して地域包括支援センター運営協議会が必要と認める場合は、**常勤換算方法※**による職員配置を可能とする。（※非常勤職員の勤務延時間数を、当該事業所において常勤職員が勤務すべき時間数で除する事により計算する方法。）

② 包括の効果的な運営に資すると地域包括支援センター運営協議会が認める場合には、複数圏域の高齢者人口に応じて3職種を配置すれば、当該圏域の各包括での配置基準を満たすものとする。質の担保の観点から、1つの圏域に2職種の配置は必要。（別紙参照）

（①の例）



## 3. 市の考えと今後について

職員配置の柔軟化については、「岸和田市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例」において、介護保険法施行規則第140条の66に定めるところによるとしており、条例上対応可能であるが、本協議会での承認が必要であり、意見を求めることとされている。

現在、各法人において苦慮しながらも人材確保について取り組んでいただいているが、今後、人材確保が益々厳しい状況になった場合に備える必要があると認識している。

原則、常勤職員の配置を原則とし、地域包括支援センターにおける職員配置の柔軟化についても、今後検討する必要がある。

上記の適用については、本協議会での承認が必要となりますが、本協議会は通常年2回の開催となっており、特例的な対応を行う時期と協議会開催の時期を合わせることが難しい状況にある。そのため、導入について予め本協議会にて承認をいただき、適用状況については、適用後直近の本協議会で報告することとする。

協議を開始するにあたり、質の担保や適切な運営に向けて、必要事項を検討するとともに、あくまでも特例の適用である事から、必ず事前に事務局と協議のうえ進めることとする。

1 実施 要綱	2 ガイド ライン	3 ケアマネ ジメント	4 包括 センター
○			○

地域包括支援センターにおける柔軟な職員配置について

「介護保険制度の見直しに関する意見」（令和 4 年12月20日社会保障審議会介護保険部会）

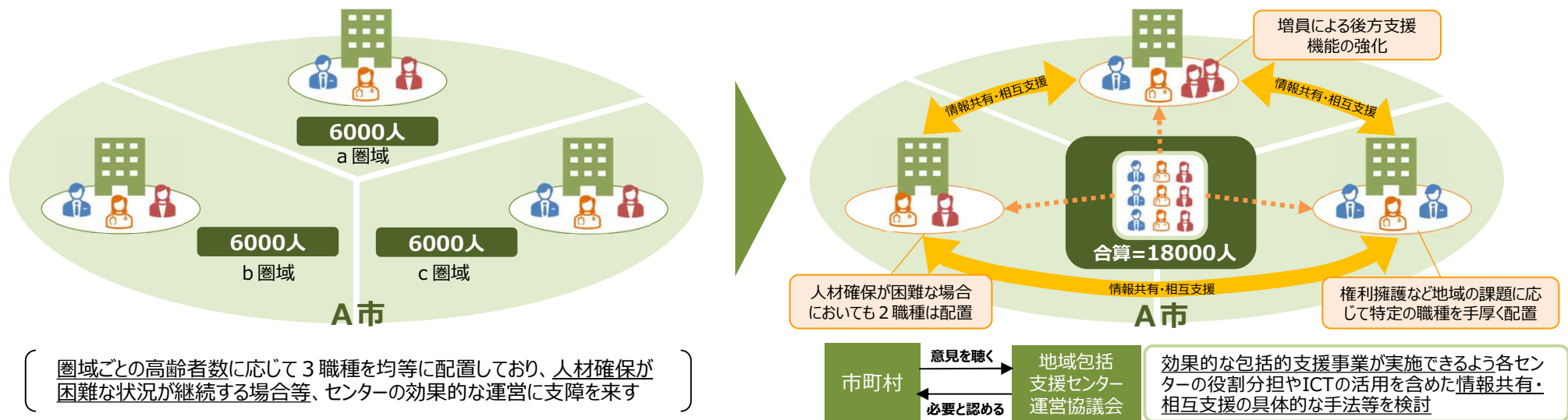
- センターの職員配置については、人材確保が困難となっている現状を踏まえ、3 職種（保健師その他これに準ずる者、社会福祉士その他これに準ずる者及び主任介護支援専門員その他これに準ずる者）の配置は原則としつつ、センターによる支援の質が担保されるよう留意した上で、**複数拠点で合算して3 職種を配置**することや、**「主任介護支援専門員その他これに準ずる者」の「準ずる者」の範囲の適切な設定**など、柔軟な職員配置を進めることが適当である。

（参考）「令和 5 年の地方からの提案等に関する対応方針」（令和 5 年12月22日閣議決定） 4【厚生労働省】(30)介護保険法  
 (viii) 地域包括支援センター（115条の46第 1 項）における保健師、社会福祉士及び主任介護支援専門員の配置について、地域の実情に応じ、一定の条件を満たす場合には、柔軟な職員配置を可能とすることについて検討し、令和 6 年度までに結論を得る。その結果に基づいて必要な措置を講ずる。

介護保険法施行規則の改正

現行の配置基準は存置しつつ、**市町村の判断により、複数圏域の高齢者数を合算し、3 職種を地域の実情に応じて配置**  
**することを可能**とする

注）市町村の事務負担に配慮し、本改正に伴う条例改正について 1 年の猶予期間を設ける。



- このほか、人材確保が困難となっている現状等を踏まえ、センターの職員配置について以下の対応を実施
  - ・ センターに置くべき常勤の職員について、運営協議会で必要と認める場合は、常勤換算方法によることができることとする（介護保険法施行規則の改正）
  - ・ 主任介護支援専門員に準ずる者として、「地域包括支援センターが育成計画を策定しており、センターに現に従事する主任介護支援専門員の助言のもと、将来的な主任介護支援専門員研修の受講を目指す介護支援専門員であって、介護支援専門員として従事（専任か否かは問わない。）した期間が通算 5 年以上である者」を追加（通知改正）